



ちばの緑

令和4年1月1日

第 80 号

一般社団法人 千葉県造園緑化協会



竹灯籠にコロナ終息の願いを込めて（千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道）

目 次

年頭のごあいさつ（千葉県知事）	P 2
新年のごあいさつ（協会会長）	P 3
令和3年度千葉県公園緑地行政の動向について	P 4
千葉県の造園業とSDGsの取組みについて	P 7
門松づくり講習と寄贈	P 9
千葉県魅力ある建設業指針協議会（CCIちば）	
市原市立渥津小学校出張授業	P 10
柏市立光ヶ丘中学校出張授業	P 11
千葉県造園協会の森（横芝光）	
フォローアッププロジェクト活動について	P 12
千葉県関係部局との意見交換会	P 14
青年部会	P 18
全国造園フェスティバル	P 19

街路樹剪定士	
～「切るも剪定、切らぬも剪定」～	P 20
植栽基盤診断士	
～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～	P 21
職長・安全衛生責任者教育講習会	P 22
2021年度 日本造園学会全国大会報告	P 23
樹木紹介③「ハンカチノキ ヌママミズキ科」	P 24
委員会報告	P 25
お知らせコーナー	P 28
千葉県立我孫子高等技術専門校	
令和4年度訓練生募集のお知らせ	P 29
会員名簿	P 30
千葉県の巨樹・古木紹介シリーズ②⑤	P 35



年頭のごあいさつ

千葉県知事 熊谷 俊人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、皆様には、造園緑化に関する知識の普及啓発、造園技術の向上等に取り組まれるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた県道の緑化活動などの社会貢献活動を積極的に推進されるなど、本県の美しい景観の保全、形成に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症による試練の年となりましたが、県民の皆様をはじめ、医療従事者、事業者の皆様にご多大な御協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

県政の基本である「県民の安全・安心を守る」ため、感染症対策については、これまでの課題を踏まえながら着実に準備を進めており、引き続き、病床確保や最前線で対応にあたる保健所の体制強化に取り組みます。

また、防災については、大きな災害を経験した千葉県だからこそ、その教訓を踏まえ、大規模停電への備えや河川整備等を進め、「災害に強い県づくり」を推進します。

昨年、八街市で痛ましい交通事故が発生しました。こうした事故の根絶に向け、道路交通環境の改善等を図ります。

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた経済の回復は急務であり、中小事業者の円滑な資金調達や観光需要の回復等に取り組めます。また、未来に向けては、成田空港の機能強化などの動きも踏まえた企業立地等を促進します。農林水産業についても、製品のブランド化支援

やスマート技術の導入等により成長力を強化し、魅力ある産業としての発展を支援してまいります。

更に、産業活動を支える道路ネットワークについては、首都圏中央連絡自動車道、北千葉道路の整備とともに、新たな湾岸道路計画の早期具体化に取り組めます。

昨年開催された東京2020大会では、多様性を認めあう素晴らしさを多くの方が実感されたと思います。年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが生き生きと活躍できる共生社会の実現に向け、取り組んでまいります。

また、三方を海に囲まれ、自然豊かな本県の特長により育まれた食文化や伝統文化などを「ちば文化」としてブランド化し、千葉らしいライフスタイルの魅力を次世代につないでまいります。

現在、県では、県政運営の基本となる「総合計画」を策定しているところです。県が目指す10年後の姿と、今後3カ年の重点施策について取りまとめる予定であり、SDGsなどを施策横断的な視点として位置付け、事業を実施することとしています。

県民の皆様が生きる価値、働く価値を実感できる千葉の未来の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県造園緑化協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

(一社)千葉県造園緑化協会
会 長 角 田 敬 一

新年あけましておめでとうございます。

平素より会員の皆様、国、県、市町村、関係団体の皆様には協会の事業活動に対し格別のご支援、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者の方々、ならびに私たちの生活を支えてくださっているすべての方々に深く感謝申し上げます。

さて、(一社)千葉県造園緑化協会は、これまで様々な活動を通じ県民のみどり豊かで安心できる生活環境を創造し社会に貢献しようと、会員一丸となり取り組んでまいりました。

東日本大震災で被災した九十九里海岸林を再生する長生郡白子町の「千葉県造園協会の森」の活動は、地元自治会、中学校と協働で植樹し、下草刈りなどの育成管理、生育調査に関わり8年が経過、知事との協定締結の期限が平成30年3月末に終了となり、クロマツ林が甦ってきました。

しかし、九十九里海岸のクロマツと広葉樹の混交林の植栽は、広葉樹の多くが枯死するなど改めて生育環境の厳しさを認識しましたが、同時に多くのノウハウも蓄積できました。

県の課題となっている広葉樹による海岸林再生技術の確立を図るため、県と連携し山武郡横芝光町において「千葉県造園協会の森」パート2として、白子での経験を活かし植栽基盤の保水性を高める客土、夏の高温乾燥防止や雑草抑制等としての緑肥植物などを取り入れ、平成28年広葉樹を植樹、継続して育成管理、生育調査を実施しています。

また、東京オリンピック・パラリンピックに向け、競技会場の幕張メッセにアクセスする県道15号線の一部区間を美しい道路景観へと整備するため、中央分離帯にオリンピックの機運を醸成するトピアリー（花・植木などで制作する造形物）でフェンシング姿のチーバくんの設置や県木マキの造形木植栽、また歩道にミニ花壇の設置など千産千消の花と緑による景観整備を実施、令和3年6月草花等の植替えを行いました。

千葉県も県道15号線の一部に花壇を整備いたしました。千葉県とは、歩道のミニ花壇の復旧方法として、日本の美しい伝統文化を継承します「日本庭園」を作庭するため協議を進めています。

さらに、伝統文化に触れていただくため一般市民向け「ミニ門松講習会」、協会員制作の本格的門松を県庁、県立こども病院など4箇所に寄贈、造園関係の高校への出前授業、造園技能検定実技試験の検定委員としての協力など様々な活動を展開してまいりました。

協会活動のもう一つの柱である会員企業の経営の安定化や人材育成の確保を図る共益活動も重要です。会員企業は、ダンピング受注や造園工事の減少に苦慮し、厳しい経営環境を強いられているのが現実です。

適正な利潤を確保するため県に要望し緑地管理業務委託の最低制限価格の設定、その後予定価格の100分の70から80に引き上げをしていただきましたが、今後低入札価格制度の見直しが必要です。

また、経営の安定化と造園技術技能の低下防止・承継を図るためには、造園工事が減少する中、県の公園工事は国の建設業許可事務ガイドラインに基づいて発注されれば大部分が造園工事となるところですが、造園工事以外の工種が6割を超えて発注される状況で、今後さらに改善が望まれます。

また、担い手の育成・確保を図るためには、造園技術技能を発揮し磨くことができる造園工事現場が必要であり、造園建設予算の拡大が不可欠です。

緑は街の歴史や文化を表現する大切な社会資本です。これからも社会資本整備への期待に応えていかなければならないと決意しています。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、コロナ禍からの力強い再起の年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和3年度 千葉県公園緑地行政の 動向について



千葉県県土整備部
都市整備局
公園緑地課長
菰田 成彦

1 はじめに

一般社団法人千葉県造園緑化協会の皆様には、日頃、本県の公園緑地・景観行政に御理解、御協力を賜り、深く感謝いたしております。

さらに貴協会におかれましては、災害時には「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務協定」に基づき、県立都市公園の早期復旧等に御協力いただいているとともに、景観法に基づく指定による「景観整備機構」として、本県の景観の保全・整備に御尽力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

本県公園施設では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら開園を継続しているところです。こうした新しい生活様式に合わせたなかで、外出自粛要請中に公園利用者が増加したことなどから、都市や人々に潤いや安らぎ、癒しを与えてくれる公園・緑地というものは、社会にとってかけがえのない財産であると、改めて広く認知されたところでございます。

都市公園の整備は進んできましたが、その一方で、施設の老朽化や、都市公園の更なる活用の必要性も指摘されています。これらを背景とし、人口減少や地方公共団体の財政的制約等の社会情勢の変化を踏まえ、都市公園法の改正が行われました。この下で、今後は都市公園の活性化や再編、民間のノウハウや投資を積極的に引き出す民間等との連携強化、都市公園の一層柔軟な管理運用などが、今日における都市公園の新たな課題となっています。

また、都市の緑を含めた、より幅広い観点から街の景観づくりを捉え、市町村、景観づくり地域活動団体、景観整備機構（千葉県造園緑化協会など）及びNPOなど、多くの団体やその関係者との協力のもと、良好な景観づくりに向けた協働の環を広げていけるよう取り組んでおります。

以下では、県立都市公園の整備・管理や都市の緑の創出、景観形成などに関する県の取り組みを紹介させていただきます。

2 県立都市公園の整備と管理について

現在、県では、長生の森公園、八千代広域公園及び市野谷の森公園の3箇所の県立都市公園の整備を行っています。

長生の森公園においては、北側エリアで整備を進めていた多目的広場が完成し、その他の施設についても早期完成に向け整備を進めております。

八千代広域公園においては、村上側がすでに供用を開始しており、残る萱田側についても、用地の取得を進めるとともに一部造成工事にも着手し、早期の整備・完成を目指しています。

市野谷の森公園の第1期区域については、主要な施設である修景池の整備が完了し、現在は、園路・広場や植栽等の整備を行い、今年度内の供用開始を目指しています。また残る区域については、今年度内の事業認可取得に向け、国や市との協議・調整を進めています。

また、幕張海浜公園においては、日本サッカー協会によりJFA夢フィールドが令和2年6月より運営を開始しており、令和3年6月には、同施設内にあるビーチサッカーピッチの整備が完了しました。

次に、既設公園の維持管理面においては、公園施設の経年劣化の進行に伴う維持管理費が増大する中、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図り、施設の長寿命化によるコスト縮減を図るために、公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修、改築、更新等を進めています。

また、指定管理者制度については、現在11公園で導



蓮沼海浜公園（展望塔の外壁更新）

入しております。指定管理者に対する年度ごとの履行状況確認の他、指定管理期間の中間年には第三者による管理運営状況の評価を行い、結果を公表しております。この他、都市公園に民間のノウハウや資金を投入し、更なる魅力向上を図るため、都市公園法に基づく「公募設置管理制度」等を活用した民間活力導入の検討を進めております。今後も、住民サービスの向上や効果的な管理運営に努めてまいります。

このように、県立都市公園がより一層安全で快適な場として、より多くの皆様に利用していただけるよう鋭意取り組んでいきたいと考えています。

3 都市の緑の創出に向けて

都市における緑を創出していくためには、都市公園などの整備により公的空間において緑を確保していくほか、建築物の敷地内空地や屋上・壁面など、民有地



緑のカーテンとチーバくん



長生の森公園（スコアボード改修）

も含めて緑化を推進していく必要があります。

県では地域におけるまちづくりの中心的な役割を担う市町村と連携しながら、広く県民の皆様に緑について関心を持っていただき、都市の緑の重要性についてより一層理解を深めていただくことを目指して、緑化に関する普及啓発活動を実施しております。

その一環として例年、県庁に「緑のカーテン」（つる性植物で窓を覆うもの）を設置しています。令和3年度は、中庁舎ロビーの南側に朝顔を植えました。本来であれば近隣の小学生に苗植えなどに参加いただき、都市の緑のあり方や緑のカーテンの普及啓発のよい機会となるはずでしたが、コロナ禍により他のイベントも含め中止することになったことは大変残念な思いです。

引続き、県民の皆様にとって身近で取り組みやすい都市緑化として緑のカーテンの普及に努めていくと共に、さらなる普及啓発活動に係る新たな事業を模索し



西洋アサガオ 県庁中庁舎ロビー南側

ていきたいと考えています。

また、グリーンインフラの推進方策として「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」を令和2年度より実施しております。

これは市町村の策定した「緑の基本計画」等に整合し、公園緑地が有する多様な機能を引き出し、複数の地域課題の解決を官民連携による都市公園の整備や、民間建築物・公共公益施設の緑化、市民農園の整備などを複合的に行うことで、都市の緑の創出並びに緑の保全に寄与する事業となります。

本県としても市町村が円滑に事業を実施できるよう、助言などのサポートをしてまいります。

今後もさらに、都市公園などの整備により公的空間において緑を確保していくほか、民有地も含めた緑化の推進や都市の緑の創出のためにはどのようにしたら良いのか、検討してまいりたいと考えております。

4 良好な景観形成の推進について

良好な景観は、県民共有の財産であり、良好な景観形成を推進することによって、「住みよいまち」「住み続けたいまち」が実現されるほか、地域への誇りや愛着も生まれ、地域コミュニティの形成、地域の活性化や観光振興への寄与も期待できます。

千葉県では、平成20年4月に施行した「千葉県良好な景観の形成の推進に関する条例」に基づき、平成21年3月に「千葉県良好な景観の形成に関する基本方針」及び「千葉県公共事業景観形成指針」を策定し、良好

な景観づくりを総合的に推進しております。

良好な景観形成は、住民の主体的な参画があって、初めて実現できるものです。県では、例年、県内各地での「景観セミナー」の開催、また、条例に基づく「認定景観づくり地域活動団体」への支援など、景観づくりへの県民参加の促進について積極的に取り組んでいますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように実施ができていない状況の中、WEB開催など「新しい生活様式」に合わせた活動に取り組んでまいります。

また、景観づくりには、市町村の役割が重要であることから、市町村が景観法に基づく景観行政団体となって、地域住民との協働により、良好な景観を保全し、つくり出していけるよう、必要な支援、連携に努めています。市町村支援の一つであり、令和元年度に実施した景観まちづくり市町村連絡会議では、貴協会などから景観づくりに関する様々な取組を紹介していただき、良好な景観づくりの一助となっています。

景観は様々な要素で構成されているため、良好な景観づくりにはそれぞれの分野の専門的な知見が必要となります。そうした意味で、景観法に基づく「景観整備機構」に指定させていただいている貴協会の皆様には、今後とも、専門知識を生かした活動を通じて、本県の良好な景観づくりに御協力をお願いいたしますとともに、社会的要請に的確に応えながら公園緑地行政を円滑に進めていくためにも、御理解と御協力の程、よろしくお願い申し上げます。



景観セミナー（令和2年1月）



景観まちづくり市町村連絡会議（令和3年6月）
※Zoomによる

千葉県造園業とSDGsの取組みについて



ちばぎん総合研究所
研究員

長島 裕之

1. 千葉県内のSDGsの取組みについて

近年、SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）という言葉を目にする機会が急速に増えてきた。SDGsとは、2015年に国連が採択した、人権や環境問題など、世界が2030年までに達成すべき17の目標のことで、相次ぐ自然災害の発生や、コロナ禍の影響で持続可能な社会への関心が高まったことで、人々の注目が集まっている。

弊社では、千葉県のSDGsの取組みの現状を把握すべく、県内事業者3,000社に対して、SDGsの取組みについてアンケート（回答数435件 回答率14.5%、2021年6月実施）を行った。本アンケートでは、SDGsの取組みを行っている県内事業者は24.9%となり、19年11月に行った同様の調査（6.2%）から大幅に増加した。

また、業種別にみると、造園工事業が属する「建設業」でSDGsの取組みを行っている県内事業者は、31.5%と県内平均を約7%ポイント上回り、建設業のSDGsの取組みは、千葉県の中では進んでいると言える。

図表1 SDGs取組み企業

	回答数	取組みをしている	具体的な検討に至っていない	聞いたことがあるが内容は知らない	SDGsについて全く知らない	その他
全体	434	24.9	47.9	16.6	7.8	2.8
教育・学習業	20	35.0	50.0	10.0	5.0	0.0
卸売業	49	34.7	49.0	10.2	6.1	0.0
建設業	73	31.5	42.5	13.7	9.6	2.7
製造業	43	25.6	51.2	11.6	7.0	4.7
医療・福祉	33	15.1	69.7	9.1	6.1	0.0
小売業	33	12.2	63.6	12.1	9.1	3.0
運輸業	13	7.7	61.5	23.1	7.7	0.0

2. 造園業とSDGs

造園業界のSDGsの取組例としては、国土交通省が2015年から推進している「グリーンインフラ」があげられる。グリーンインフラとは「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力的な国土・都市・地域づくりを進める取組」である。自然環境を保全対象としてだけではなく、社会的課題の解決手段として捉える新たな概念であり、具体例として、植林の砂防事業による里山の景観維持や、公園や街路樹整備などによる放射熱の軽減などがあげられる。

グリーンインフラの推進は、SDGsの17の目標のなかでは、「住み続けられるまちづくりを」や「気候変動に具体的な対策を」、「陸の豊かさを守ろう」などの目標に直接的に関係する。

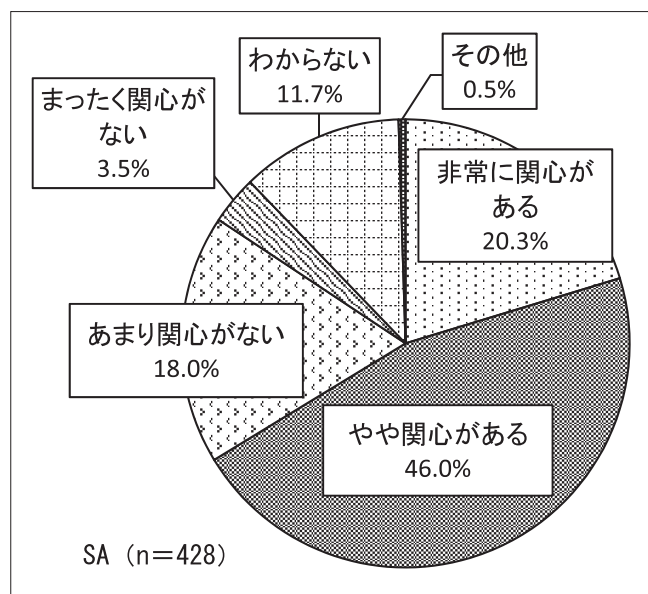
特に千葉県は、年を通して温暖な気候であり、海や里山などの自然環境が豊かであることから、グリーンインフラを推進する意義及びビジネスチャンスは非常に大きい。

県内の造園業者のSDGsの取組内容をホームページなどで確認すると、伐採の際に出た枝や葉などを粉碎して、たい肥化したり、伐採した枝を薪として売り出すなどの取組みや、地元住民へ造園のコーチングを行うなどの活動がみられるが、全体としては少数派であり、逆に言えば、県内造園業のSDGsの伸び代は大きい。

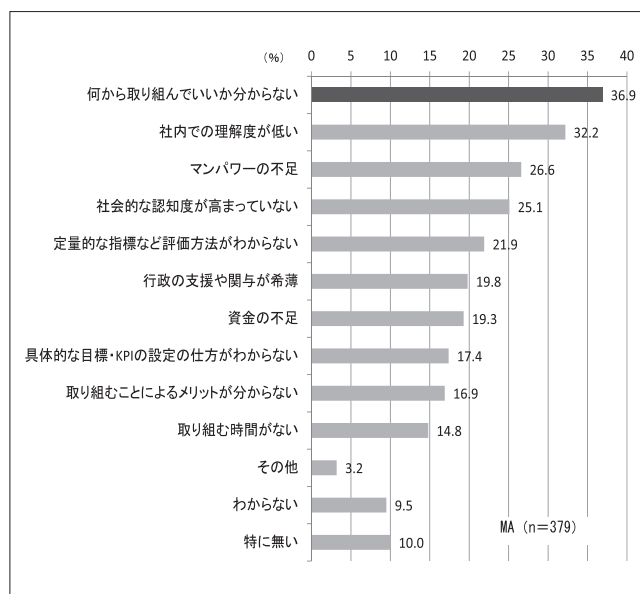
3. 造園業のSDGs取組み加速に向けて

前述のアンケートで、SDGsに関心がある先は約7割と少なくない一方で、取り組む上での課題をきくと、「何から取り組めば良いかわからない」との回答が最も多い。そこで、弊社では、SDGsを推進するヒントを

図表2 SDGsへの関心



図表3 SDGsへ取り組む上での課題



提供することを目的に、昨年11月に「SDGsセミナー2021」を開催した。本セミナーは、県内で先進的な取り組みを行っている自治体と企業の取組事例を紹介するもので、聴講者は、県内自治体・企業を中心に計200名を超えた。

このセミナーでは、市原市、米屋株、(株)新松戸造園に登壇いただき、取り組んだきっかけや、成果、課題などをわかりやすくご説明いただいた。セミナーを通じて、新たに取組む企業に向けたアドバイスとしては、①自社が行っている事業を17の目標にマッピングすることが取組む第一歩として有用であることや、②無理せずに継続できることから始め、社内にSDGsの取組みを根付かせること、③経営層が積極的にSDGsに関

わることがあげられる。

近年、SDGsへの取り組みをしていない企業をサプライチェーンから締め出す動きや、公共入札においてSDGsへの取組みが加点項目になる自治体が出てくるなど、SDGsの取組みは「抗えない時代の流れ」であり、企業経営にとって重要度を増している。

造園業は、造園工事や植栽を業としており、SDGsとの親和性は高い。個々の事業者が、取り組んでいる(取り組もうとしている)活動や事業をまずはSDGsの17の目標にマッピングして自社とSDGsの関わりを整理するところから始めていただきたい。整理が出来た後に、経営陣の関与の下で、17の目標のうちできることから取組みを始めることが、成功への道筋である。



SDGsセミナー 2021 (令和3年11月)

門松づくり講習と寄贈



完成門松と参加者

日本の伝統工芸を守るため、職人が高齢化している中、若手がその技術、技能を継ぐことが大切なのではとの思いから（一社）千葉県造園緑化協会では、会員企業及び一般の方々に作り方・技術を知ってもらうため門松づくり講習を毎年開いております。

しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の為一般向けのミニ門松づくり講習会は中止とし、会員企業の社員を対象とした門松づくり講習会のみ開催しました。

会員企業が作った門松は、千葉県庁・千葉県文化会館・千葉県こども病院・千葉県リハビリテーションセンターに寄贈しており、毎年大変喜ばれております。

又毎年の寄贈で皆さんの思いが詰まった門松で千葉県庁はじめ千葉県全体に福が来ていると私は、信じております。

では門松の由来から説明しましょう。お正月は本来、神様が地上に降りてくる日です。もともとは、新年の神様を招くという風習があるために飾られるもので、神様が私たちの家に降りてくる時の目印になります。松竹梅が慶時に用いられるようになったのは、室町時代からといわれています。門松に松と竹が選ばれている理由は、（松は千歳を契り、竹は万代を契る）と言われ、（依代＝神の宿る場所）が永遠に続く事をねがったの組み合わせです。なお、竹の節をからめて斜めに



千葉県庁庁舎



門松講習

切って使用した場合、その切り口が（笑口）に似ていることから（笑う角に福来る）といわれています。

こうした門松の由来を聞くと神様・福・縁起がいいこの伝統工芸を千葉県からなくすわけにはいきません。われわれ千葉県造園緑化協会の手で技術等を若手が継ぐことが大切なのではないのでしょうか。

日本の伝統文化の魅力を身近に知り、理解と興味を持ってもらうため、みなさん汗をかきながら真剣に取り組んで下さいました。事前に作成した見本の門松6尺1対を参考に、鉢の上縁の飾り編み、竹の太さと節の揃え、松の差し込み、縄の飾り梅などに注意を払いながら皆さん立派に作り上げていらっしゃいました。

先にご紹介したように、5尺門松竹の節をからめて斜めに切って使用しました。参加者の皆さんの「笑う角に福が来る」事を願ってやみません。

自分の手で苦勞して出来上がった門松を見ている様子には満足な表情がうかがわれました。清々しい気持ちで新年を迎えられることと思います。

ハロウィンやクリスマスなど、西洋の文化を取り入れつつも、日本の伝統文化を大切に守っていききたいと思います。

又子供たちにもどんどん見せて、させて、おぼえてもらいたいと思います。

この様な門松作りを皆さんに体験を通して知するという事は、良い機会体験だと思います。

（川西 正人）



千葉県こども病院

千葉県魅力ある建設業指針協議会(CCIちば)

小中学校出張授業

市原市立湿津小学校

11月15日（月）市原市の湿津小学校6年生2クラス61名を対象に教室で建設業に関する「出張授業」を実施しました。

今回は、当協会広報委員会副委員長の松戸克浩（新松戸造園）と新千葉建設（市原市）の菊池政廣さんと玄海電設工業（市原市）の大浦政伸さんが講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会（ACE）の市野敬介さんが司会進行を務め45分間の授業が始まりました。

授業の内容は「学校建設現場で働く人たち」をテーマに映像教材を見ながら「学校を建設するのにどんな工事をする人が必要でしょう」ということで、現場進捗状況のビデオが上映され、質問形式で楽しく伝えていきました。その後「クイズ 私の仕事は何でしょう」と題し、5人の方々が使用している道具や働いている場所・スタイルなどをヒントに、現場監督・鳶職人・電気工・空調衛生工・造園工の人が登場し、それぞれ特色のある道具を持ちながら、職種を予想してもらいました。

「造園工事」の答え合わせの後、講師の松戸さんは生徒に配布した会社のパンフレットを用いて自社の事例を丁寧に紹介し、造園業の魅力を説明するとともに、社章にしている「なしのマーク」は、二十世紀梨の発見者である先祖の松戸覚之助の自然を愛し大切に育む精神を受け継いでいることを表現していると説明しま

した。また、作業服の女性が手賀沼緑道を背景に写っているポスターを見せながら「樹木、草花の生け方など感性が求められる職業、造園は建設業の中では女性に向いている職業である」と話し、「男女問わず自然が好き、人と接することが好きな方は、造園建設業を将来の選択肢として興味を持ってくれたら幸い」と、造園業のアピールをしました。

最後に、司会の市野さんが「さまざまな職人が、それぞれのタイミングで仕事に携わり、いろいろな仕事を協力しながらするのが、建設業の特徴」とまとめられました。

授業終了後、同小学校の江藤教務主任は「コロナ禍でキャリア教育の実践が難しい中、学校に来て教えてくれるのは非常にありがたい。機会があればぜひまた来てほしい」と、今回の出張授業への感謝を述べていました。

（井口 徳仁）



市原市立湿津小学校出張授業風景



市原市立湿津小学校出張授業風景



市原市立湿津小学校出張授業風景

柏市立光ヶ丘中学校

11月30日（火）柏市立光ヶ丘中学校1年生約200名を対象に、建設業に関する「出張授業」を体育館で開催いたしました。

今回は、当協会広報委員会副委員長の松戸克浩さん（㈱新松戸造園）、県建設業協会東葛支部支部長の吉田孝幸さん、奥村組東日本支社の小座間誠さんが講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会の市野敬介さんが司会進行を務め50分間の授業2コマ、計100分が始まりました。

授業の内容は「千葉県の建設業のお仕事」をテーマに、「新川の護岸工事について」・「生き物を扱う建設業である造園建設業について」・「水に関する建設業である下水道工事について」の3部構成で行われました。

「新川の護岸工事について」は、始めに実験映像を視聴し、土手が水の動きによって下部から崩れてしまう様子を見せながら護岸工事の必要性を説明しました。その後、護岸工事でおこなわれた鋼矢板・かごマット工法について、質問形式で楽しく伝えていきました。

その後、松戸さんが講師として「生き物を扱う建設業である造園工事業」の説明を、会社のパンフレットを用いて行いました。「地域に密着し、人と自然が調和した持続可能な街づくりに貢献したい」をモットーに、公園・遊園地・野球場などあらゆる空間が造園建設業の場であり、「緑」を活かし街や人々の心に潤いを与える造園建設業は、近年学ぶ女性が増えており、女性が活躍する「えるぼし認定」を取得するなど、造園女子を応援していると話されました。

「水に関する建設業として下水道工事について」では、下水道管路の補修方法について説明をされました。

最後に建設業は、地域に密着し地震や台風、ゲリラ豪雨など災害時の応急復旧や2次災害防止にも深くかかわっていることを説明し、建設業に興味を持ったら、将来はぜひ一緒に仕事をしましょうと語りまとめられました。

（海瀬大五郎）



柏市立光ヶ丘中学校出張授業風景



柏市立光ヶ丘中学校出張授業風景



柏市立光ヶ丘中学校出張授業風景

千葉県造園協会の森(横芝光)

フォローアッププロジェクト活動について

「法人の森(横芝光)」協定の概要

1. 所在地：山武郡横芝光町尾垂イ字大杉前3856-80
2. 面積：640㎡ (20m×32m)
3. 名称：千葉県造園協会の森(横芝光)
4. 協定期間(当初)：平成27年9月25日から
令和2年3月31日まで
再協定期間：令和2年4月1日から
令和5年3月31日まで

現在の活動について

(一社)千葉県造園緑化協会の継続活動として、「千葉県造園協会の森(横芝光)」があります。

横芝光町尾垂の海岸において、広葉樹による海岸保安林を目指しての植栽箇所各樹木の生育調査を年2回行っております。

千葉県の海岸防災林では、主要な樹種であるクロマツがマツノザイセンチュウにより大きな被害を受けており、震災による潮害もあわせて広く疎林化が進んでいます。

現在、残った海岸防災林の機能を維持する為に、マツノザイセンチュウによる被害を防ぐと地上散布にて防除を行うと同時に、早急な再生を進める為に抵抗性クロマツの植栽が進められております。

しかし、今後もおなじように現在進めている抵抗性クロマツを主要とした単一樹種による防災林を構成した場合、万が一特定の生物等による被害をまた受ける可能性があり、その場合瞬く間に全域に拡がり、全てを失う危険性があります。

ただ、現在において海岸前線部で生育できる高木性の樹種となると、クロマツに頼らざるえない状況です。

そこで、今後の海岸県有保安林の林帯においてクロマツだけに頼った植栽による特定害虫等による機能喪失を防ぎ、尚且つこれからの生物多様性の保全も考慮して、クロマツ林の後背地に今後検討をして広葉樹林帯を設ける予定です。

施工箇所は、横芝光町尾垂で砂丘から100m程後方



耕耘

に位置した場所で、海岸前線部には数年前に新規に造成を仕直して新規に植えたクロマツ等が植栽されており、その後背地となる場所です。

広葉樹を海岸に植えるにあたり、現況土(砂土)では生育できない事は明らかですので、植栽基盤の確保と保水力の保持を目指し、土壌改良材の混入も検討しましたが、今後の計画による造成面積が膨大に広いことを踏まえ、コストを抑える方法として、壤土(赤土)を30cm厚で全面客土し、客土下の地山30cm深さまでを耕運する事で、砂壤土タイプの植栽基盤を60cm厚で確保しました。

本来ならば海岸側にはクロマツ林が形成され潮風を防いだ背面に植栽される計画ですが、現在はまだクロマツ林が潮風を防ぐほど成長していないため、代わりに防風ネットを単管パイプで設置し潮風を防ぐ方法をとっています。これは、千葉県北部林業事務所で行われた試験植栽に準じて、おなじ設置方法です。

しかし、現在は一昨年の台風等の被害により、防風ネットの大半が、裂けたり留具が外れたりしてしまいました。

さらに、周囲の囲いや中の区画となる竹簀も経年劣化と台風の影響で、傾いたり破損したりした箇所がかなり増えております。

しかし、実際の工事においても、工事終了後の数年経った場所で、再度竹簀の更新を行う事は無いかわれ、今回も大規模な更新や修繕は行わないで、そのままの状態、継続調査を行っております。

協会の新たな試みとしては、通常行う敷きわらの代わりに、緑肥植物の種子を播種し、マルチング材としての防草効果及び、夏場の地温上昇の抑制効果がどれくらい得られるかを期待して数種類の緑肥植物を試行しています。緑肥植物としての、耐潮性など沿岸部での施工実績があまりなく、事前に種類を絞り込むことが困難であったため、数種類を試しています。

この緑肥植物の播種は、秋にすき込み肥料とする事により、これまで、植栽時にのみ行われる施肥をこの方法により、毎年肥料分を補う事が出来ることも同時に期待していましたが、実際には、夏場の暑さや乾



播種

燥により播種植物の生育不良や、周囲からの種子飛来による予定外の植物の繁茂が増えてきており、当初予定していた管理機（耕運機）のサイズでは、すき込みの対応が困難な区画も出てきており、期待していた緑肥効果は区画によっては難しい状況になっております。

当初の予定では、通常の海岸保安林の維持管理は、個々の作業員が肩掛式草刈機で下草を刈っていますが、どうしても誤伐により植栽した苗木も刈ってしまう事があります。また、広範囲な管理地内を人力にて草刈りを行う事はとても大変で時間と労力を多く要します。これらを改善する為に、緑肥植物をすき込み耕耘することだけで維持管理できれば、誤伐を起こす作業はなくて済み、また、肥料分も補えて維持管理作業も手間取らずに比較的簡単に尚且つ低コストで出来るのではないかと期待しました。

しかし今回は、区画の広さや作業スペースの問題で、耕耘機の規格が小さなものしか使えず、耕耘力が小さくもう少し大きな規格の耕耘機が機能出来るスペースの確保が必要であったことを痛感しております。

植栽後5年経過した現在、客土が効果を発揮したのか、緑肥植物の効果がどれほどあったのか、防風ネットのお陰なのか等、はっきりと断定出来る考察はまだできませんが、活着率は比較的良く、生育も一部を除いては良好です。

不良な一部とは、毎年同じような状況を繰り返しておりますが、タブノキが、夏季期間には元気に生長したものの、冬季期間に乾燥によるものなのか冷風に晒されてなのかはっきりとした原因は不明ですが、地上部が枯れてしまい、春先に再度根元からひこ生えが伸びるという状況が繰り返されております。

今年の生育状況ですが、今年は比較的降雨もあり、順調な生長を期待していたのですが、まだ、海岸前線部のマツは樹高が低く、周囲の防風ネットはすでに破損し、竹簀も経年劣化により多くの箇所破損しており、守られていた物が失われた事により、周囲から風を強く受けるようになったのが原因かどうかははっきりとしませんが、生長速度はかなりゆっくりとしたものになっている気がします。

実際に測定した結果は、生長をしてはおりますが、大きく伸びる事はあまり無いようで、枝葉の数は増えても樹高や枝張りの伸長があまり見えませんでした。

今回の「法人の森（横芝光）」では、生育状況を樹高と葉張りを測定し、樹高×葉張で投影面積を求め、植

栽当初に比べての増加率を集計しています。

現在の緑化増加率（平均）は、植栽当初に比べて、4月の調査段階ですが

常緑広葉樹（高木性）

・タブノキ	75%	（昨年の値 112%）
・マテバシイ	1,022%	（昨年の値 980%）
・モチノキ	142%	（昨年の値 96%）
・ヤマモモ	2,163%	（昨年の値 2,259%）

落葉広葉樹（高木性）

・オオシマザクラ	1,576%	（昨年の値 1,632%）
・エノキ	719%	（昨年の値 795%）

常緑広葉樹（中低木性）

・ウバメガシ	2,291%	（昨年の値 1,827%）
・トベラ	1,002%	（昨年の値 517%）
・シャリンバイ	1,192%	（昨年の値 1,108%）

※緑化増加率＝投影面積の増減値／当初投影面積×100

区画の配置や区画毎に植栽方法や緑肥植物等が違う為、一律にどのような植え方でどの樹種が良いのかの比較はまだ出来ませんが、単純に樹種毎の平均した数値の比較ではこの様になっています。

現在の調査対象樹木で各樹種の投影面積の大きく生長したものは、下記のとおりです。

・タブノキ	樹高 700mm	葉張 200mm
・マテバシイ	樹高2,300mm	葉張1,000mm
・モチノキ	樹高1,170mm	葉張 150mm
・ヤマモモ	樹高1,900mm	葉張1,500mm
・オオシマザクラ	樹高2,100mm	葉張1,200mm
・エノキ	樹高1,350mm	葉張1,350mm
・ウバメガシ	樹高2,400mm	葉張2,000mm
・トベラ	樹高1,700mm	葉張 700mm
・シャリンバイ	樹高1,700mm	葉張1,200mm

この「法人の森」協定も令和4年度の年度末をもって期間満了となります。

今後も継続して維持管理及び生育調査を行っていただきますが、作業としては、春の緑肥植物の播種と生育調査。秋の生育調査の2回となる予定です。

まだ、新型コロナウイルスの影響で、今までの様な日常作業がおくれない状況ではありますが、海岸保安林の現状及び生育環境を肌で感じるチャンスは残すところ2回となります。

ぜひ、多くの協会員の方々には協会活動に参加される事を期待しております。（榎原 正和）



生育調査

千葉県関係部局との意見交換会

県との意見交換会は、我々造園業界の声を県の関係部局（県土整備部、農林水産部、総務部、企業局）幹部の皆さんに直接届ける場として毎年開催しています。

本年度は、9月9日（木）県との意見交換会を予定していましたが、8月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたあとも、急速な感染拡大が見られ感染リスクが危惧されるため意見交換会を中止しました。

後日、県から「海岸保安林の再生」「少子高齢化・地域防災に対応した公園再整備計画検討プロジェクト」「門松づくり講習と寄贈」などの主要事業の活動に関連する要望とともに会員から寄せられた「公園緑地・景観整備」「造園業の育成」「働き方改革の推進」「グリーンインフラの推進」等29項目の質問・要望について回答を寄せていただきました。

【協会の主な事業と要望等】

項 目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
I 海岸保安林の再生活動	①九十九里地区及び平砂浦地区の保安林整備の進捗状況はどのようになっていますか。 また、今年度はどのような整備を行う予定ですか。	＜森林課＞九十九里地区の保安林整備の進捗状況ですが、津波対策としての砂丘の整備を重点的に実施し、平成27年度までに約13キロメートルを完了しています。 森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和2年度までに約134ヘクタール実施し、進捗率は全体計画に対し約55パーセントとなっています。 平砂浦地区の進捗状況ですが、森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和元年度までに約29ヘクタール実施し、進捗率は約50パーセントとなっています。 今年度は、両地区とも植栽を予定しております。
	②広葉樹導入の検討状況について教えてください。 また、海岸前線部より内陸側についてはいつどのように進めていくお考えですか。 今後の見通しなどの共通認識を持つ場として海岸県有保安林再生部会等の開催をお願いします。	＜森林課＞現在は、植物の生育環境として厳しい海岸の前線部（砂丘裏法面端から100m未満程度の範囲）や、景観として松林が求められる箇所については、クロマツの植栽を進めていますが、前線部より内陸側については、マツクイムシの被害や生物多様性を考慮して、広葉樹を導入することとしています。 このため、森林研究所と協力し、「海岸防災林の広葉樹化方針（素案）」を作成し内容について検討を行っているところです。 今後の見通しですが、九十九里地区だけでも、海岸前線部（砂丘裏法面端から50mの範囲）の植栽必要エリアが約50ヘクタール、その後の50～100mの範囲においても約40ヘクタールが存在しているため、今後5年以上の期間は、前線部のクロマツの植栽を優先して進めて行くこととなります。 その期間中に、その後に控えている広葉樹の植栽に備え、植栽方法を確立していきたいと考えております。 部会等の開催については未定ですが、研究成果についてはある程度まとまった段階で、情報提供していきたいと考えており、皆様からのご意見等についても随時伺わせていただければと考えております。
	③北部林業事務所防災林造成工事の発注件数が減少傾向にある中、令和3年度発注見通し（7月時点）では、9件のうち7件の入札方式が一般競争となっています。 この状況は、建設工事の担い手を育成・確保し工事の品質向上等を図るとした担い手3法（品確法と建設業法・入契法の一体的改正）の行政の責務に逆行していますか。 北部林業事務所では、数年前年間20件を超える防災林造成工事の入札が指名競争で行われてきました。 つきましては、一般競争入札方式を発注件数が増加し、より多くの造園業者の受注機会確保・育成が可能となります指名競争入札方式に変更することを強くお願いします。	＜森林課＞指名競争入札は、工事の規模、適切な工期の確保、進入路の確保状況等、現場の状況に合わせて選択しています。 引き続き、関係法令、県の基準等に則り、事業の執行を進めてまいります。
	④北部林業事務所防災林造成工事では、抵抗性クロマツのコンテナ苗が使用されていますが、今年度の抵抗性クロマツコンテナ苗の供給量はどの位を予定していますか。 また、令和2年度の活着率はどの位ですか。	＜森林課＞今年度の抵抗性クロマツコンテナ苗木の供給量は、苗畑の確保が困難になったため、約2万6千本に留まり、県内産苗木の公共事業の必要量に対して供給量が不足する見込みとなっており、県外産苗木の調達が必要な状況となっております。 令和2年度の北部林業事務所管内の活着率は、4箇所データの集計となります。現場ごとの活着率は、99.9パーセント～98.5パーセントで平均すると99.4パーセントでした。

項 目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅱ 少子高齢化に対応した公園再整備計画検討プロジェクト活動	①県が支援助言し推進している市町村が行う都市公園の再整備事業に係る、最近3年間の事業費の推移と今後の新規地区の見通しについてお伺いいたします。	<公園緑地課>公園施設の老朽化が進む中で、国の交付金により公園施設の長寿命化計画の策定や、それに伴う公園施設の改築・更新に取り組んでいる市町村は、令和元年から令和3年度の3年間で17市あり、長寿命化対策に係る事業費の推移は増加傾向にあります。 また、今後の新規地区の見通しとして、来年度は1市1公園を予定しております。 なお、「公募設置管理制度（Park-PFI）」を活用し、公園を再整備している市町村が2市あります。 県としても、必要に応じ、円滑な事業実施に向けて、助言等を行ってまいります。
	②県立都市公園における民間活力による公園の再生・活性化については、具体的にどのような展開を図っていくお考えですか。	<公園緑地課>県では、都市公園法の改正を受け、県立都市公園の魅力向上や利活用の促進のため、民間活力を活用した公園の整備・管理等の導入に向けた取り組みを進めることとしています。 平成30年度には柏の葉公園において、民間事業者とのヒアリングによるマーケットサウンディング調査を実施し、地元市や有識者からも意見をいただいたところです。 現在は、コロナ禍の影響もあり、社会情勢等も大きく変化していることから、民間事業者の意向の把握に努めており、民間活力の導入に向け手続きを着実に進めてまいります。 また、他の公園についても、民間活力を活用した公園の整備・管理等の導入についての検討を行っていきたく考えております。
	③東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、各地の公園においてバリアフリー化が図られたことと思います。 県内では、どのように進みましたか。 また、バリアフリー化をさらに発展させた障がいのある子どもい子も一緒に遊ぶことができるインクルーシブ公園の取組が東京都内などで始まりました。 県は、インクルーシブ公園の整備推進についてどのようにお考えですか	<公園緑地課>県立都市公園では、平成7年度に施行された「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、建物の出入り口や通路、トイレなどの公園施設でバリアフリー化を実施しており、今年度は県立行田公園で、車椅子対応のトイレの改修を実施しています。 また、障がいのある子どもい子も一緒に遊べる公園への取組みは、大変重要であると認識しており、県としても先行事例を調査・研究するとともに、市町村に対しても県の得た情報の提供を行うなど支援をしてまいります。
Ⅲ 門松づくり講習と寄贈	①「ミニ門松」はCCIちばの事業として取組めますので、一般募集について県のご協力をお願いしたい。	<建設・不動産課>「ミニ門松」づくりは、県民参加型のイベントとして、CCIちばの事業においても建設業の魅力向上に資する重要な取り組みの一つであり、また、参加された方々からも大変好評を得るところです。 講習会の一般募集につきましては、CCIちばのホームページに掲載するなど、協力させていただきます。
	②昨年同様、寄贈先との仲立ちをお願いしたい。	<建設・不動産課>昨年も、県庁本庁舎正面玄関ほか関係施設に門松を寄贈していただきまして、誠にありがとうございます。 寄贈された施設では、大変喜び、感謝しておりました。 今年度の寄贈につきましても、これまで同様、引き続き仲介させていただきます。
Ⅳ 造園技術の向上	（造園技能検定講習） ①印旛沼下水道事務所等において造園技能士を入札参加資格要件に位置づけていただき大変感謝しております。 また、有資格者にとって励みにもなっています。 専門的な技能を必要とする業務においては、造園技能士を入札参加資格要件とするように配慮していただきたい。	<管財課> 緑地管理業務のうち、専門的な技能を必要とする業務は、発注所属において、「造園技能士の資格者を有する者であること」などの入札参加資格要件を設定しております。 今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
	（造園技能検定講習） ②造園技能士の資格についてご理解をいただくため、県担当者の皆さんにも造園技能検定試験講習会の視察をお願いしたい。	<公園緑地課>造園技能士は、公園・緑地に係る整備や管理を行う上で重要な資格であると認識しており、県といたしましても職員の技術の向上の観点から、庁内の職員に講習会への積極的な参加を呼びかけてまいります。
	（街路樹剪定士研修会・認定試験等） ①葛南土木事務所等において街路樹剪定士を入札参加資格要件に位置づけていただきありがとうございます。 街路樹剪定業務については、良好な景観を保全するため県の全機関で街路樹剪定士を入札参加資格要件とするようにお願いしたい。 また、街路樹の倒木等を防止する街路樹の簡易診断に街路樹剪定士の活用をお願いします。	<管財課・道路環境課>一般競争入札における入札参加資格要件については、発注所属において業務内容に応じて設定しております。 今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運営を図ってまいります。 また、街路樹剪定士の資格概要等について、県担当者に周知してまいります。
	②県担当者の皆さんにも街路樹剪定士研修会に参加していただき、街路樹剪定士制度等についてご理解願いたい。	<道路環境課>研修会の開催について、より多くの県担当者に参加してもらうため、関係各課と連携し周知してまいります。
	③街路樹の植え替えあるいは公園再整備が見込まれるなか、植栽土壌のスペシャリストとして植栽基盤診断士による提案が期待されています。 県発注工事の入札公告等に植栽基盤診断士を明記していただきたい。（国、URでは採用しています。）	<建設・不動産課>入札参加資格要件については、発注所属において工事内容に応じて設定しているところですが、一部の業者に参加資格が限定されないよう十分配慮することとなっています。 植栽基盤診断士については、今後活躍が期待される資格と思われるので、当該資格の普及状況などを注視しつつ、その活用について検討してまいります。

【会員から寄せられた意見や要望】

項 目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅰ 入札等について 要望 1	①当方で確認できた範囲では、低入札価格での落札件数は少なく落札率も80%に近いものと認識しています。 令和2年度の公園緑地等に係る維持管理業務での落札件数、その内低入札価格での落札件数と落札率（最高、最低、平均）を教えてください。	＜管財課＞令和2年度の公園緑地等に係る維持管理業務で、特定委託業務として入札を実施し落札決定した件数は572件でした。 そのうち、低入札価格調査制度を適用した件数は21件で、調査基準価格を下回った価格で落札したものは、1件ありました。 なお、平均落札率は92.9%で、最高は100%、最低は79.6%でした。 （参考：企業、病院局を除くもの）
	②担い手の中長期的な育成・確保のため、適正な利潤が確保できるように予定価格の100分の70以上80未満の者について調査する低入札価格調査制度を廃止し、予定価格に100分の80を乗じて得た額を最低制限価格としている最低制限価格制度のみの運用にしていきたい。	＜管財課＞県では、ダンピング受注防止や従事者の労働環境の維持を図るため、低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を採用しています。 緑地管理業務等の特定委託業務については、予定価格が1,000万円以上の案件に低入札価格調査制度を適用しており、予定価格の100分の70未満の者を失格とし、100分の70以上80未満の者について調査を実施し、適正な履行が確保されると判断した場合に、落札者としていところとす。 適正な履行が確保されているかを確認するために低入札価格調査制度を行っていることから、今後とも、入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
要望 2	①発注される建築土木工事に造園工事の仕事があっても建築土木業者に一括発注されている場合が見受けられます。 造園業者は下請け業者となり、工事価格や代金の支払いなどのリスクまた、価格の透明性や品質確保などでも問題が生じる恐れがあります。是非、造園工事の分離発注をしていただきたい。	＜公園緑地課＞発注する公園工事については、一体施工の必要性を考慮する工事もありますが、できるだけ分離発注をするよう努めているところとす。 今後とも、庁内で情報共有を行うとともに、県内業者の発展に考慮しつつ、公正性や品質確保を図りながら、適切な制度運用に努めてまいります。
Ⅱ 公園緑地・景観整備等について	①実施中の県立都市公園整備事業（八千代広域公園、市野谷の森公園、長生の森公園、各公園の長寿命化対策事業等）の進捗状況と完了の予定について教えてください。	＜公園緑地課＞八千代広域公園の村上側は、供用済であり、萱田側について、引き続き用地買収を進めるとともに、一部の造成工事に着手したところとす。 市野谷の森公園の第1期区域については、年度内の供用開始を目指し、残る園路・広場の整備を行っております。また、残りの区域については、年度内の事業認可取得に向けて、関係機関との協議を行っております。 長生の森公園は、一期区域に加え、二期区域の多目的広場を含む一部を供用しており、今年度は二期区域の調整池整備工事や管理棟建設工事を行っており、引き続き事業を推進してまいります。 各県立公園の長寿命化対策事業については、長寿命化計画に基づき、昨年度は野球場スタンドベンチの更新等を行い、今年度は噴水設備改修等を行う予定です。今後も引き続き、長寿命化計画に基づき、公園施設の改修を実施してまいります。
	②千葉県企業局土地管理部の本年度の緑化事業の内容と今後の見通しについて 教えてください。	＜企業局土地管理部＞今年度以降の緑化事業については、特に予定はありません。 なお、企業局土地管理部で保有している土地については、引き続き、除草・伐採等の業務委託を発注し、適正な維持管理に努めてまいります。
	③大型ショッピングセンターや民間の住宅地開発において、建物と駐車場を広くとり緑地面積がほとんどありません。都市部も地方部も関係なく緑化協定の緑地率は高く、対象面積は小さくして、緑地面積の確保に力を入れていただきたい。	＜環境生活部自然保護課＞千葉県自然環境保全条例に基づく緑化協定については、公害又は災害の防止、その他良好な生活環境を維持することを目的としており、工場用地及びその他の用地（物流倉庫等）では面積1ヘクタール以上、住宅用地では10ヘクタール以上と、比較的大きな敷地面積の場合を対象にしています。また、大型ショッピングセンターは対象としていません。 一方、都市部の市では条例や要綱により、より小さな面積（千葉市では500平方メートル以上）から幅広く事業所を対象にしている場合や、緑地率が県の基準よりも高い場合もあります。 以上のように、地域の状況に応じて、県、市町村のそれぞれで緑化制度を設けているところであり、引き続き、市町村とも連携して緑化の推進に努めてまいります。
Ⅲ 造園業の育成について	①県の公園整備工事は、昨年度36件、今年度当初発注見通し（7月時点）では27件と少ない中において、造園工事としての発注予定は10件で17件は土木工事一式工事などの他工種となっており、造園業者は入札に参加することができずに排除されています。 このような状況は、造園業者の現場での工事経験が少なくなり、施工管理能力や造園技術力の低下が非常に心配されます。 また、若い技術者の人材育成・技術の継承が何よりも難しくなり、このままだと近い将来、公園の整備・長寿命化などによる美しい公園づくり等の景観整備の品質確保を十分に果たすことができないのか強く懸念されます。 今年度発注予定の公園整備工事は、国土交通省の「建設業許可事務ガイドライン」に示されている造園工事の内容、例示、区分の考え方に概ね該当するものと考えています。 つきましては、公園整備工事においては極力造園工事として発注していただきたい。	＜公園緑地課＞県立都市公園については、現在、八千代広域公園、市野谷の森公園、長生の森公園の3公園の整備を進めるとともに、既設の都市公園では、公園施設の長寿命化計画に基づき、施設の改修や更新等を行っているところとす。 建設業許可事務ガイドラインに基づいて発注するよう土木事務所と共有したところであり、今後も適切に公園工事を発注してまいります。

項 目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅲ 造園業の育成について	②造園は建築と違い、感覚的で自然任せなところがあります。若い職員にはまず、草木を好きになってもらいたい。我々がどうやって造園の魅力を次世代に伝えアピールするかに知恵を絞り、選ばれる職能にしていけるかが重要であると考えています。 また、国交省が行っている労務費調査の調査対象職種の定義・作業内容に記載されている造園工を見てみると、「造園工事について相当程度の技能を有し、・・・」と記載されているので、普通作業員や軽作業員とをしっかりと区別することも大切であると考えています。 そこで、「伝統技能の伝承や職人の育成」の観点から、県所有の県立公園等で、日本庭園を協会が借りして、若手技能者の育成のため、見本庭園として維持管理等の技能研修をすることは可能でしょうか。	<公園緑地課>幕張海浜公園や柏の葉公園においては、日本の伝統文化に身近に触れられる場として「日本庭園」が整備され、多くの県民に利用されているところです。 「伝統技能の伝承や職人の育成」については、県としても大変重要だと思えますので、具体的な研修内容については、ご相談していただきたいと思います。
Ⅳ 働き方改革の推進について	①県は、工期の適正化にどのように取り組んでいますか。 また、週休2日制を定着する取組みとどの程度定着が図られていると考えていますか。 ②県は、公共工事の施工時期の平準化に向けてどのように取り組んでいますか。 また平準化率はどのように推移していますか。	<技術管理課>工期の適正化については、平成29年度から、準備期間や後片付け期間、雨休率（雨天日・土日祝日を考慮）等を設定し、週休2日を考慮して、適切に工期を設定しています。 県では、働き方改革の実現や職場環境の改善など、将来の担い手確保に向けた取組として、平成27年度から完全週休2日制モデル工事を試行しており、平成29年8月からは、完全週休2日制を達成した場合には、共通仮設費及び現場管理費を補正しています。 令和元年8月からは、週休2日の実施に伴い必要となる経費を適切に計上できるよう、「週休2日制適用工事試行要領」を制定し、共通仮設費、現場管理費に加え、労務費、機械経費についても、現場の閉鎖状況に応じた補正を行っています。 県土整備部では、更なる普及促進に取り組むべく、令和3年度の発注者指定型の発注目標工事件数を昨年度の約600件から、対象工事の概ね75%の約900件に増やしています。 引き続き、受注者に対して週休2日の導入を呼びかけるなどにより、週休2日の意識の醸成を図り、更なる普及に努めてまいります。 <技術管理課>県では、働き方改革の実現や職場環境の改善など、将来の担い手確保に向けた取組として、施工時期の平準化を進めることが必要であると考えています。 国が公表している千葉県平準化率は、いわゆるゼロ債や2カ年債務の活用などに取り組んだ結果、平成29年度が0.58、平成30年度が0.60と改善されており、令和元年度は、0.65と更なる改善が見られました。
Ⅴ 森林環境譲与税の活用について	①令和元年度からスタートしました森林環境譲与税の今年度の配分は、どの位になりますか。 また、県と市町村の森林環境譲与税の使途は、どのような内容になりますか。 ②森林整備の担い手で景観整備機構である当協会も森林整備の取組に協力したいと考えています。 森林環境譲与税活用の検討課題等の協議の場に参加させていただきたい。	<森林課>令和3年度の森林環境譲与税の譲与額は昨年度とほぼ同額であり、県への譲与額は、約1億1,700万円が見込まれています。 市町村への譲与額の合計は、約6億6,200万円が見込まれており、1市町村当たりの平均額では、約1,200万円となります。 市町村では、森林整備として、計画作成等の事前準備や森林整備の実施、台風等による倒木等の伐採及び植栽やナラ枯れ被害の調査や作業を委託、補助により進めています。 また、人材育成としてボランティア団体への研修や木材利用・普及啓発として公共施設等への木製品の導入、環境整備等に森林環境譲与税を活用しています。補助により進めています。 また、人材育成としてボランティア団体への研修や木材利用・普及啓発として公共施設等への木製品の導入、環境整備等に森林環境譲与税を活用しています。 県では、市町村が森林整備を実施する際に活用できるよう森林の位置や樹種等の情報を集積した、森林クラウドシステムを運用し、情報の拡充を進めているほか、森林整備を行う事前準備として必要な計画作成や意向調査等に取り組む市町村を支援するなど、森林整備を実施する市町村の支援等に森林環境譲与税を活用しています。 <森林課>市町村が森林環境譲与税を活用して進める森林整備の推進に当たっては、担い手の確保は重要な課題の一つであり、現在、森林整備を中心的に担っている森林組合や、その他の林業事業体に加えて、貴協会の会員の御協力をいただく場面もあるものと考えています。 今般の新型コロナウイルスの影響もあり、税の活用の協議の場は設置しておりませんが、今後、市町村の意向や取組状況を踏まえた上で、貴協会や林業事業体等、森林整備の担い手の方々のご意見を踏まえた事業の検討を進めてまいります。
Ⅵ グリーンインフラの推進について	①国土交通省が中心となり令和2年3月にグリーンインフラ官民連携プラットフォームが発足し、県も参加していますが、グリーンインフラ推進の担当窓口はどこになりますか。 ②道路の植栽帯の改修や有効活用、緑の防潮堤の造成など、社会資本整備や土地利用等のハードソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用し、持続可能で魅力的な国土・都市・地域づくりを進める取組みであるグリーンインフラ整備を戦略的実践的にどのように進めていますか。 また、グリーンインフラの一層の推進を図るため、グリーンインフラ推進課を設置していただきたい。	<公園緑地課>公園緑地課では、昨年11月にグリーンインフラ官民連携プラットフォームに登録を行っており、雨水流出の抑制や都市の生産性向上等を目標とした都市公園・緑地の整備を担当しています。 <県土整備部政策課>県土整備部では、公園、学校などの公共施設への雨水貯留施設の整備や道路法面の緑化など、自然環境が持つ防災・減災といった各種機能を活用したインフラ整備を実施しています。 今後も、グリーンインフラの考えを取り入れつつ、それぞれの分野における施策を進めてまいります。
Ⅶ 諸事項の改善について	①緑地管理等の業務区域で対象となっていない枯れている樹木等を見かけます。 また、植栽工事が少なくなっている中、若い技術者を育成するために少量でも植栽工事が必要と考えています。 そこで、緑地管理等の業務委託を樹木の補植（植替え）、芝の張替や修景施設の更新等を含めて、造園工事として発注していただきたい。	<建設・不動産課>各機関が発注する工事については、工事の種類や性質等を勘案し、発注しているところです。 引き続き、適切な発注に努めてまいります。

青年部会

青年部の目的

本会は、一般社団法人千葉県造園緑化協会の定款に定める目的、事業の趣旨に基づき会員企業の活性化のため、会員相互の親睦や情報交換、技術研修等の企業運営に必要な知識習得を図るとともに、造園緑化事業に関する地域社会の理解と普及や社会貢献活動を通じて、地域の発展に寄与することを目的とする。

活動内容

ものづくりの魅力発信講座について

現在日本国内はもちろん千葉県内でもコロナウイルスの影響で景気が低迷し、千葉県内においても公共工事及び民間工事では新規の造園工事が激減し維持管理業務ばかりです。本来の造園技術の向上に結び付かない現状の中、今後我々会員企業の活動の場について、

みんなで考え、意見を出し合い、今の時代においてもとめられているものや出来る事は何なのか。それぞれの会員の持つ知識や考え方をみんなで共有し会員レベルの向上を目指しています。

高度な技術をもつ「ものづくりマイスター」が小中学校の教育機関に直接出向き、生徒達がものづくりの魅力や楽しさ等に触れ、体験する機会を提供し、将来の仕事を考えるキャリア教育の推進の一助となるものです。

今年度も、青年部会から県内の小中学校に「造園マイスター」を派遣しました。

造園の伝統技術の紹介や身近な緑に触れていただこうと、小学生には苔玉づくり体験、中学生には小さなスケール内へ自然を切り取った様な空間を表現するテラリウムづくり等の講座を開催しています。

(朝生 章)



苔玉づくり



テラリウムづくり



全国造園フェスティバル 「花と緑で美しい日本を！」

全国造園フェスティバルは、(一社)日本造園建設業協会が、現代都市の庭である都市公園整備の根幹となった「都市公園法」の施行50周年と連動し、環境と景観の時代である21世紀に求められるまちづくり、地域づくり、美しい国づくりに、すばらしい造園の技術が生かされていることを、広く市民の方々に知って頂くことを主旨・目的とし、2006年より「花と緑で美しい日本を！」をテーマにスタートしました。今回で16回目の開催になります。

去年は県内4ヵ所で開催されました。

- ① 千葉県立行田公園
10月4日(木) 16日(土) 藤木園緑化土木(株)
- ② 千葉県立北総花の丘公園
10月10日(日) 林造園土木(株)
- ③ 船橋市天沼弁天池公園
10月23日(土) 24日(日) 船橋造園協同組合
- ④ 千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
10月30日(土) (株)新松戸造園

それぞれの会場で趣向を凝らした企画を実施し、多くの市民と交流を図り「造園」を発信しました。

(佐藤 正幸)



①千葉県立行田公園～行田フェスタ2021～



②千葉県立北総花の丘公園～センニチコウ摘み取り



③船橋市天沼弁天池公園～緑の相談コーナー



④千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道～高所作業車体験

～「切るも剪定、切らぬも剪定」～

実技試験では、目標樹形のプロポーションや頂部優勢をコントロールした剪定部位はもちろん、適正な剪

「効率的な切返し剪定」は、日造協が推奨する街路樹剪定の剪定技術です。

実技認定試験（プラタナス）

植栽基盤診断士

～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～

植栽樹木の枯損や生育不良の原因で最も多いと推測されるものが、固い地盤や排水不良などによるものです。

一般社団法人日本造園建設業協会（日造協）では、植栽基盤に関わる総合的な知識と卓越した技術提案力を持つスペシャリストとして「植栽基盤診断士」認定制度を平成15年に創設し、以来18年が経過しました。令和元年度末までに全国で1,605名、うち千葉県では63名の植栽基盤診断士（士補は全国で3,528名、うち千葉県で127名）が県内各地域で活躍しており、現在では国土交通省や都市再生機構等で仕様書等に記載されてきています。

そこで、日造協千葉県支部では、植栽基盤診断に必要な5項目（物理性4項目、化学性1項目）について千葉県版の標準見積書を作成し、千葉県下の行政への要望活動のひとつとして準備しました。

物理性4項目については、

▽土壌断面

（長谷川式大型検土杖の取り扱い、測定手順、記録）



土壌断面

▽土性・土色判定

（指頭法・標準土色帖の土色判定と判定結果の記述）



土性・土色判定

▽土壌硬度

（長谷川式土壌貫入計の取り扱い、測定手順、測定結果のグラフ化と評価）



土壌硬度

▽透水性

（長谷川式簡易現場透水試験器の取り扱い、測定手順、最終減水能の算出と評価）を標準とし、

化学性1項目については、

▽PH・EC測定

（測定準備、測定液の取り扱い、測定器の校正作業、測定の手順と読み取り、判定）を標準としています。



透水性



pH・EC測定

また、これら5項目の判定結果をもとに、技術提案をする流れになっています。

植栽地の改良提案をするためには、現場調査・土壌の物理性化学性の診断・排水性の確保・植物の性質や植栽工法・経済性の比較など、施工者側の植栽基盤に関する高度な知識と技術が要求されるため、質の高い技術者を育てていくことが必要です。

「植栽基盤診断士」は、植栽基盤・土壌・植物・植栽に関する知識と経験があり、土壌調査・診断結果をもとにした処方能力を総合的に備え、植栽基盤整備“植物が良好に育つ土壌環境”を整えるスペシャリストです。

「植栽基盤診断士」に求められる能力として、下記の事項があげられます。

- ① 植栽予定地の現況調査・診断・植栽基盤整備に必要な土壌の物理性、化学性の知識
- ② 植栽されるさまざまな植物の総合的な知識
- ③ 植栽や移植に関する多様な工法、経済性の知識と技術
- ④ 植栽地盤の調査・診断技術と、植栽基盤整備の視点に立って下す処方能力
- ⑤ 発注者などに対し、施工性、経済性を考慮して、明確なデータを示しながら行う技術提案力と説明力

（松戸 克浩）

職長・安全衛生責任者教育講習会

令和3年9月15・16日の2日間にわたり、(一社)日本造園建設業協会千葉県支部主催の「職長・安全衛生責任者教育講習会」が高度ポリテクセンター(千葉県美浜区)で開催されました。



義講

この講習会は造園CPD認定プログラムになっています。

受講対象者は、職長の職務に就いている方（就く予定の方）、安全衛生責任者に選任されている方（選任される予定の方）です。今回の受講者は30名で、造園業者を対象とした講習会は10数年ぶりとなりました。

第1日目(15日)は「職長・安全衛生責任者の役割」「作業員に対する指導及び教育の方法」「危険性又は有害性の調査等と低減措置等」。第2日目(16日)は「職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル」「関心の保持と創意工夫を引き出す方法」「異常時、災害発生時における措置」を学びました。

開講に先立ち、主催者の伊藤高広千葉県支部長から「近年、自治体の中には、職長教育の修了証を入札参加資格要件として提出を求めるところもあります。講習会で、職長・安全衛生責任者の責務や役割等についてしっかりと学んで、工事現場における働く人の健康と安全を確保し、作業の効率化を図るようにしていただきたい」と挨拶がありました。



伊藤支部長



野村徹郎氏

講師を務めたのは、日造協「技術アドバイザー」の野村徹郎氏。職長教育の第一人者で、グループ演習など取り入れながら、造園建設業に特化した内容の講義が2日間午後5時まで延べ14時間熱心に行われ、2日目の講義終了後受講者に修了証が交付されました。

(松戸 克浩)



演習



演習と発表

2021年度 日本造園学会全国大会報告

1. はじめに

令和3年5月23日にオンラインにて開催された2021年度日本造園学会全国大会において、「造園の魅力～私たちはなぜ造園を選ぶのか～」と題したミニフォーラムが行われた。携わる仕事の内容や立場によって造園の魅力は様々であるが、何か共通するものがあるのではないかと。造園に関わる様々な職種の方々に、それぞれの魅力や課題を紹介していただき、多様な視点から造園の魅力を探求する。また、造園学会では、産官学のより一層の連携のもと、ランドスケープ分野の新たなフロンティアの開拓を模索しており、本議論を受け、学会の果たすべき役割や方向性等を展望していくきっかけになればと期待し開催した。

2. 自己紹介・仕事の現状と課題

司会の松戸克浩（日造協 地域リーダーズ総リーダー）の開催挨拶と趣旨説明の後、酒井一江（日造協 女性活躍推進部会長）の進行。産官学におけるスペシャリストの自己紹介、造園の仕事を選んだ理由や続けてこられた理由、仕事の現状と課題について紹介。

- 1) 赤嶺太紀子（高野ランドスケーププランニング(株)／取締役）北海道の設計会社で、幼稚園や商業施設、リゾート施設、公園等のプロジェクトに関わってきた。大学で建築を学び、ランドスケープの奥ゆかしさに感銘を受け業界入り。設計は長い時間を見据え思い描くものという意味の「若いうちに早く木を植えろ」という先輩からの言葉が印象的で今も意識。屋外活動のニーズが増え、自然の楽しみ方や生活に取り入れることに価値が出てきた。デジタル化の影響も大きく、気持ち良さなど体感が可視化されるようになった。実施設計では細かいおさまりについては表現しきれないので、現場でも施工者との協力は不可欠。
- 2) 鈴木幸子（横浜市／青葉区青葉土木事務所長）横浜市は造園職が確立しており女性職員も多いため、働きやすくチームワークにより長く続けてこられた。公園の管理費は縮小傾向だが、再整備にも力を入れている。指定管理者制度により、行政ではできなかったサービスが行われコストだけでなく自主事業も評価。造園は地域に入り込み住民の声を聴く、公園と地域のパイプ役となっている。
- 3) 小林正典（株小林造園／会長）京都の施工会社で、社長5代目。今は銘木の子孫を後世に残す仕事をしている。神社仏閣の維持管理がメインで日本庭園を造る機会が少なくなっているため、自社で竹垣や剪定などの研修を開催し、社員に経験させて触れさせている。
- 4) 村上修一（滋賀県立大学／教授）創造性にあふれ夢がある専門の造園学研究室を選び、卒業後ゼネコンの現場監督や造園設計を経て今日がある。学生とともに新しい風景の見方やあり方の発見、造園の魅力について互いに学ぶ。日本で造園を学ぶルートは、造園のカリキュラムがある大学のほか、建築系の学科や芸術系の大学など様々だが、アメリカは学ぶ年代・バックグラウンドが多様であるのが特徴。グリーンインフラなど最先端の事に興味がある傾向だが、庭園など生の教材で造園たるものが何かを伝えている。

3. 今後の造園の仕事

今後の造園の仕事や公共空間の重要性はどうか。
村上：AIや自動化により失われるものもあるが仕事の領域が広がることもある。学びの現場では、造園で学んだことがどのように活かせるかで進路の幅は広がる。
鈴木：人と人が繋がるフィールドが公園や緑道であってほしい。横浜市人材育成ビジョンの命題に「緑を機軸とした街づくりのコーディネーターになろう」がある。
小林：ビオトープは、もともと日本庭園にあったもので目新しいものではない。日本の文化的なものに着目して、日本の生活の良さも改めて感じてほしい。日本庭園をどう活用しているかを学べば日本らしい仕事ができるのでは。10年20年先を見据えることが重要で、造園技術を維持するためにも、各地に地域に適した日本庭園を造ってほしい。
赤嶺：「公園+α」というように、様々な分野で境界を越え混じり始めているので、今後は公園の本来の目的を維持しつつ価値を最大限に引き出せる人材が重要になる。

4. 造園の魅力

鈴木：造園の要素を備え、街や生活にも関われる仕事。臆することなく型にはまらず取り組んで欲しい。
村上：造園は5年、10年、100年と未来に関わり、環境に関われる仕事である。
小林：造園は数値に現し難く自然や感覚による仕事。まずは草木を好きになり大事にして欲しい。
赤嶺：その土地ができる由来・文化・歴史・地形等を調べ、価値を見出し、住民と共有・共感する、地球と対話できる仕事である。

5. コメント・総括

コメンテーターの加藤友規（造園学会 企画委員会委員長）よりコメント。行政は、人と人の繋がりを大切にし、公園をいかにより良くしていくかをチームで考えられている。大学では、造園の伝統と共に最先端の教育にも注力されている。設計では、その土地固有のオンリーワンな設計ができることが仕事の魅力である。施工は、日本庭園を造る機会を人材育成の機会とし、都道府県各地に一つずつ日本庭園を造る提案を頂いた。「完成のない生きた総合芸術」を扱うことが造園の魅力であると改めて感じた。造園でも式年遷宮のように、伝統技能継承のシステムが必要である。

酒井氏より総括。造園空間も携わる人も時間をかけて作り上げるもの。今日の話にあった造園の魅力を確かめるために、まずは業界に入っていただきたい。

企画責任者：松戸 克浩
 （一社）日本造園建設業協会
 地域リーダーズ総リーダー



ハンカチノキ ヌマミズキ科

(諸説あり)

樹木医 富塚 武邦

ゴールデンウィークが近づく頃に、白い2枚のハンカチを垂らしたようなハンカチノキが開花します。ふなばしアンデルセン公園ではハンカチノキが列植され、来園者を楽しませています。

ハンカチノキは中国の四川省や雲南省の標高2000mの山地に自生する落葉高木で30mにも達します。葉は互生、広卵形で縁に浅く尖った鋸歯があり、長さは9～15cmほどです。花は目立たず、ハナミズキのように*頭状花序となり、2枚の苞葉の間にあります。花卉のように見える花（実際は苞）は葉の伸長と同時に伸び始め、途中で緑黄色から純白に変わります。名称は白い苞葉を形容したもので、中国名は「鳩子樹」、春風に揺れる様子が、たくさんの白鳩が一斉に飛び出すように見えることによります。英名は「ハンカチーフの木」「鳩の木」、日本名は「ハンカチノキ」のほかに「幽霊の木」の名称もあります。果実はキュウイフルーツのような色と形で長さ3～5cm、11月に成熟します。

1867年頃フランス人宣教師、アルマン・ダビッド神父により発見され、学名ダビディア・インボルクラタの属名は神父の名に因みます。なお種小名は総苞のあるとの意で、花卉のように見える白い苞のことです。ハンカチノキはその存在が珍しく、植物界のパンダ、またメタセコイアと同様に生きた化石ともいわれました。日本列島では新生代鮮新世～更新世前期の地層から化石が発見されています。

日本への渡来は1952年、小石川植物園に植えられたものが最初で、千葉県県立青葉の森公園のハンカチノキは、1977年に同植物園で採穂したものです。

日当たりの良い肥沃地を好みますが管理は容易です。播種は通水性の良い土に取り播きか、3月頃に行い、運が良ければ1果から数本発芽します。自然樹形も美しく多花性で、鈴なりの果実も見応えがあり、記念樹や公園樹、街路樹等に広く利用できます。

*頭状花序：花序軸の先に2個以上の無柄の花が付くもの



◀ 果実



◀ 苞葉



◀ ハンカチノキ



委員会報告

総務委員会

委員長 浮ヶ谷 容徳

会員の皆様にはコロナ禍でありながら多大なご協力をいただき、次の諸活動を行うことができました。

○災害応急対策の推進

- ・災害時に迅速な災害活動をするためには日頃の災害訓練が必要です。令和3年度千葉県県土整備部震災訓練（11月9日）に参加、当協会の災害対策連絡網（会員141社網羅）による災害情報伝達訓練、また施工業者による県立公園のパトロール等を行いました。
- ・11月、当協会の県土整備部震災訓練の実施状況、協会独自の災害情報伝達訓練実施状況の報告と問題点を検討するため、「災害応急対応に係わる本部員・施工業者・班長合同会議」を開催しました。

○実務者セミナーの開催

実務者を対象としたセミナーを開催しています。本年度は11月、今回は、株式会社建設経営サービス提携講師 三科公孝氏を講師としてお迎えし、「建設業界におけるSDGs（持続可能な開発目標）の動向と今後の展望」と題して実施しました。

○会員の親睦

新型コロナウイルス感染症は沈静化の方向に向かっていますが、慎重を期すために今年度は、忘年会は中止いたしました。親睦コンペは1月に実施予定です。

事業委員会

委員長 蓬田 浩一

令和3年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

○県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様へ直接届ける場として毎年開催しています。

しかし、本年度は9月9日プラザ菜の花で県との意見交換会開催に向け、県土整備部、農林水産部、総務部、企業局との連絡調整を図ってききましたが、8月新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令後においても、急速な感染拡大がみられ感染リスクが危惧されるため中止しました。

県より後日、当協会からの質問・要望の29項目に対して、真摯な回答をいただき、会員には協会だより（10月号）を通じてお知らせしました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

○造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

しかし、本年度は8月25日千葉市オークラ千葉ホテルで情報交換会の開催予定でしたが新型コロナウイルス感染急拡大のため中止しました。

このため協会から、情報交換会に向けご協力いただき作成した「会員企業への造園技術社員採用状況等アンケート調査結果」、「高校等への造園会社への就職状況等のアンケート調査結果」、「後継者育成に係る協会の主な事業」、「ジョブカフェちば案内2021（雇用労働課）」等の会議資料を参加予定であった流山・成田西陵・茂原樟陽・薬園台高等学校、我孫子高等技術専門校、県雇用労働課・建設不動産課・教育委員会教育振興部学習指導課に就職活動等の参考として送付しました。

この他、小中学生等が体験するものづくりの魅力発信講座などに取組んでいる青年部会への助成等様々な活動を行っております。

今後とも緑化に関する普及啓発に努めてまいります。会員皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

技術委員会

委員長 榊原 正和

○法人の森整備事業（横芝光町）

法人の森整備事業では、今年度も引き続き「千葉県造園協会の森（横芝光）」と称して、山武郡横芝光町尾垂の海岸保安林の土地において、広葉樹の中で、実際にどのような樹種が適応できるものなのか、また、分類上耐潮性が強いとされる樹種を幾つか選び植栽をしましたが、はたして本当に活着するものなのか？

現地の植栽環境で適応できる樹種は何なのか、植栽後、毎年定期的に生育調査や緑肥植物の播種・耕耘等を行っており、現在では植栽当初に比べ、かなり大きく育った樹種や風等により生長を阻害された樹種など生長に差が出てきました。

今年度は年2回の生育調査等を行っております。コロナ禍ではありますが、参加人数を抑え、距離をとりながら、生育調査や播種作業など、技術委員及びフォローアップのメンバー達に参加し作業して頂いております。

今後の状況を見ながら、協会の皆様には、現場を見て頂き、更なるご協力も宜しくお願い致します。

○門松づくり講習会

協会の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。

今までに数多くの協会の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に作成しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及びこども病院、リハビリテーションセンター。それと会場をお借りしております千葉県文化会館を含め、4対の門松を寄贈させて頂きました。

それぞれの場所において、寄贈設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉を頂いております。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一般の方々へのミニ門松づくりは中止を致しましたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染が一旦落ち着き、いろいろな規制が緩和されましたので、例年よりも参加人数を減らし個々の間隔を確保してミニ門松づくり講習会を開催する運びとなりました。

少しでも多くの方々が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会の皆様の更なるご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会

委員長 湯浅 浩一

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校への出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。千葉の緑で千葉県の巨樹・古木紹介シリーズが、最終ページに掲載されています。今回は、市川市国分のスダジイ（常緑高木）が掲載されています。市川市で仕事をしているので調べると、なんと協会員でもある植泰造園さんの所有地にあるスダジイと、大変びっくりしました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載させています。会員の皆様に、事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

造園技能検定推進委員会

委員長 鈴木 康史

昨年は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し中止になりましたが、今年度は、実施いたしました。

実技試験は令和3年7月22日（木）・23日（金）・24日（土）の3日間にわたり千葉県立我孫子高等技術専門校で実施しました。1級26名、2級94名の方が受験されました。また、判断等試験（要素）は8月19日（木）に、学科試験は8月22日（日）にちば仕事プラザで実施しました。

例年、真夏の蒸し暑い時期に実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。令和3年度の合格者は1級5名、2級50名が合格されました。

技能検定推進委員会では100%の合格者を目指し対策講習会も実施しています。製作講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて作成順序や注意点も詳しく教え、実際に題材で作成して指導を行っています。また、判断等講習会（要素）では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。学科講習会では、過去問48年間分を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。



お知らせコーナー



造園業の発展への多大な功績等により、表彰された方々を紹介します。(敬称略)

造園業の発展へ多大な功績等により、表彰された方々を紹介します。

厚生労働大臣表彰(R3.11.19)

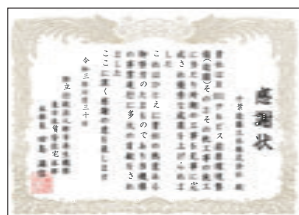
多年にわたり、造園技能検定
貢献された功績により厚生労働
大臣から表彰された。



㈱千葉緑化サービス
蓬田 浩一

令和3年度 優良工事表彰を受けられた 会社を紹介します。

●都市再整備機構優秀工事施工者表彰



千葉造園土木㈱

令和3年度 (一社)日本造園建設業協会会長表彰(R3.6.22)

●造園建設功労賞



植忠造園土木㈱
角田 敬一

●業績表彰



㈱新松戸造園
松戸 克浩



㈱生光園
齊藤 典之

令和3年度

優秀施工者国土交通大臣表彰(R3.10.1)



㈱横芝緑化
伊藤 英徳



三木造園土木㈱
鈴木 直彦

令和3年度

(一社)千葉県造園緑化協会会長表彰(R3.5.20)

●造園建設功労賞



朝生林業㈱
朝生 章



新日本植産㈱
井口 徳仁

●勤続精励功労賞



千葉造園土木㈱
千葉 浩之



㈱横芝緑化
伊藤 英徳

●技術・技能功労賞



㈱ウキガヤ
森河 賀須美



植忠造園土木㈱
竹島 正一

千葉県立我孫子高等技術専門校 令和4年度訓練生募集のお知らせ

造園の技能・知識を基礎から学んで、造園の仕事に就いてみませんか！

●普通課程園芸サービス系造園科（追加募集）

訓練科名	訓練課程	訓練期間	定員	募 集 期 間 等
造園科	普通課程	1年間 (4月入校)	20名	・追加募集の期間、選考日について 千葉県立我孫子高等技術専門校にお問い合わせください。

〔応募資格〕 高校を卒業した方、若しくはこれらと同等以上の学力を有すると認められた方

〔授業料〕 年額118,800円（別途 教科書、作業服等の費用が必要です。）

〔選考方法〕 学科（国語、数学）・適性検査（ペーパー、器具）・面接

〔訓練内容〕

- （１）学科・・・庭園概論（歴史・様式）、栽培法、病理・農薬、材料、関係法令、設計および製図（CAD）
- （２）実技・・・造園実習（垣根・石組み）、栽培実習（薬剤散布・除草）、農業機械使用法（建設機械）
 ・庭園管理実習（樹木の刈り込み、剪定・整姿）、施肥実習（土および肥料準備）
 ・根掘りおよび植栽実習（根巻・支柱）

●短期課程造園科募集（6ヵ月）

区 分	7月入校	1月入校
募集期間	R4.4.18（月）～ R4.5.13（金）	R4.10.17（月）～ R4.11.11（金）
選 考 日	R4.5.26（木）	R4.11.24（木）
合格発表	R4.6.2（木）	R4.12.1（木）
入 校 日	R4.7.1（金）	R5.1.10（火）
定 員	11名	11名

〔応募資格〕 転職・再就職を希望される方、学歴は問いません。

〔授業料〕 無料（別途 作業服等の費用が必要です。）

〔選考方法〕 適性検査（ペーパー、器具）・面接

〔訓練内容〕 訓練期間6ヶ月で、造園工事に必要な実技を中心に、竹垣類の製作・樹木管理・石組み・ブロック積み・測量・CAD等を学びます。

募集内容等の詳細については、
千葉県立我孫子高等技術専門校に
お問い合わせください。
見学も随時受け付けております。

〒270-1163 我孫子市久寺家684-1

電 話 04-7184-6411

FAX 04-7185-0265

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kg-abiko/>



技能五輪造園職種・全国大会出場（愛知）

会 員 名 簿

正会員

(五十音順) 令和3年12月現在 141社

社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H P ア ド レ ス	E メ ー ル
(株) I . G . O .	270-1367	印西市浦部1028-2	0476(42)3899	0476(42)6275	http://www.linkclub.or.jp/~sanyo/	k2sanyo@zd.wakwak.com
(株)アサヒグリーン	264-0037	千葉市若葉区源町106-2	043(284)4433	043(252)5707	http://www.asahi-green.co.jp	mail@asahi-green.co.jp
(株)青野造園土木	270-1432	白井市富士61-4	047(443)4847	047(443)4849		aonozouendoboku@able.ocn.ne.jp
(株)青山造園土木	272-0133	市川市行徳駅前4-3-13	047(397)9179	047(397)7800		aoyama@ec4.technowave.ne.jp
(株)赤 門	285-0002	佐倉市萩山新田545	043(485)1030	043(485)1170	http://www.kk-akamon.co.jp/	sakura@kk-akamon.co.jp
朝 生 林 業 (株)	290-0524	市原市平蔵322	0436(89)2014	0436(89)2800		t.asou@chive.ocn.ne.jp
(株)荒井造園土木	272-0802	市川市柏井町2-742	047(337)6222	047(337)2431		araizouen@h6.dion.ne.jp
(株)飯塚造園	287-0217	成田市桜田296	0476(73)3691	0476(73)6641		iizukakk4128@yahoo.co.jp
(株)飯塚緑化土木	278-0041	野田市蕃昌69	04(7129)2171	04(7129)5001		koujibu@iizuka-ryokukadoboku.com
飯高造園土木(株)	285-0852	佐倉市青菅265	043(487)3232	043(487)3233		info@iidaka-zd.co.jp
(株)飯沼ガーデン建設	270-2254	松戸市河原塚114-3	047(391)6689	047(392)5819		iinumagarden@shore.ocn.ne.jp
(株)石 川 園	270-2251	松戸市金ヶ作251	047(385)7745	047(311)8585	http://ishikawa-en.jp	info@ishikawa-en.jp
(株)井上造園	299-0252	袖ヶ浦市勝507	0438(63)0859	0438(63)0839		02tachibana@inouezouen.co.jp
(株)植 草 園	263-0051	千葉市稲毛区園生町173-1	043(253)3693	043(255)3462	http://www.uekusaen.co.jp	uekusaen@kind.ocn.ne.jp
(株)植 泰 造 園	272-0834	市川市国分2-16-10	047(372)0358	047(372)0357		suzuki@uetai.co.jp
植忠造園土木(株)	260-0006	千葉市中央区道場北2-18-9	043(224)7611	043(224)7613		info@uechu.co.jp
(株)植 義	284-0012	四街道市物井1802-25	043(423)1814	043(424)0899		info@e-ueyoshi.co.jp
(有)植吉造園	276-0015	八千代市米本2428	047(488)1529	047(488)3655		ueyoshizouen@nifty.com
(株)ウ キ ガ ヤ	270-2232	松戸市和名ヶ谷1253	047(391)5161	047(391)5163		ukigaya_k@ukigaya.co.jp
(株)浦安造園	279-0041	浦安市堀江5-16-22	047(351)4611	047(352)3094		info@urayasuzouen.com
(株)江波戸造園土木	276-0046	八千代市大和田新田917-20	047(450)4014	047(450)2170		ebato@ebato.com
(株)大作園芸	275-0017	習志野市藤崎6-19-15	047(472)0738	047(471)5733	http://www.oosaku.co.jp	info@oosaku.co.jp
(株)岡崎庭芸	286-0048	成田市公津の杜3-20-3	0476(27)0506	0476(28)1643	http://www5b.biglobe.ne.jp/kozu-oka/	keiokazaki-teigei@wood.biglobe.ne.jp
(有)岡吉造園	277-0054	柏市南増尾5-18-19	04(7173)0058	04(7173)0054		Yukio.okada@okayoshizouen.co.jp
(株)加瀬造園	289-2505	旭市鎌数9570-8	0479(63)6750	0479(62)1363		kase-zouen@k9.dion.ne.jp
勝田造園(株)	285-0845	佐倉市西志津2-22-19	043(487)1430	043(487)1022		katuta-zouen@catv296.ne.jp
(株)加藤園緑化建設	277-0872	柏市十余ニ287-18	04(7132)2281	04(7133)7479	http://www.kashiwa-cci.or.jp/home/10131/index.htm	ka-katouen@mti.biglobe.ne.jp
(株)加藤緑花土木	267-0065	千葉市緑区大椎町1251-321	043(294)4655	043(294)4658		kato4655@sirius.ocn.ne.jp
鎌ヶ谷造園土木(株)	273-0118	鎌ヶ谷市中沢379	047(445)3136	047(445)2200	http://www.kamagaya.com/zouen	zouen@kamagaya.com
神 鳥 造 園 (株)	262-0012	千葉市花見川区千種町357-14	043(259)0843	043(258)8728		info@kamitori.co.jp
川西造園土木(株)	299-0118	市原市椎津1299-2	0436(61)0310	0436(61)0321		kawanisi@tk9.so-net.ne.jp
(株)川村造園企画	270-1176	我孫子市柴崎台3-9-15	04(7184)5311	04(7183)3315		kawamura-zouen@eos.ocn.ne.jp
(有)共 栄 緑 化	273-0015	船橋市日の出2-2-16	047(431)5368	047(433)9835		kyoeiryokka@nifty.com
(株)共楽園緑化土木	283-0041	東金市広瀬83	0475(58)5355	0475(58)5357	http://kyourakuen-chiba.com	kyouraku@aiaoros.ocn.ne.jp
(有)協 和 緑 地	277-0812	柏市花野井1035-9	04(7133)6772	04(7131)7167		kyowa-0518@peach.ocn.ne.jp
グリーンテック(株)	277-0861	柏市高田806	04(7148)4187	04(7148)4171	http://www.green-tech.co.jp	info@green-tech.co.jp
京成バラ園芸(株)	276-0046	八千代市大和田新田755	047(459)0331	047(459)4779	http://www.keiseirose.co.jp/	tender@keiseirose.co.jp
(株)京 葉 園	263-0002	千葉市稲毛区山王町267	043(422)2320	043(422)8875	http://www.keiyoen.com	green@keiyoen.com
京 葉 園 芸 (株)	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-8-17	043(254)3231	043(287)9803		info@keiyo-engei.co.jp
京葉ガーデン(株)	279-0041	浦安市堀江2-18-10	047(354)8854	047(354)8874		mail@keiyo-garden.co.jp
京葉緑化工事(株)	290-0045	市原市五井南海岸30	0436(21)5365	0436(21)5344	http://www.keioryokka.co.jp	flower@keioryokka.co.jp
香樹園緑化建設(株)	283-0048	東金市幸田294	0475(52)1626	0475(52)1564		koujyuen@siren.ocn.ne.jp

社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H P アドレス	E メール
(株)光風ガーデン 光 陽 (株)	270-1137 285-0858	我孫子市岡発戸599-2 佐倉市ユーカが丘4-1 スカイテザ・モール3F	04(7182)9876 043(462)9751	04(7182)2328 043(462)9704		kofu-gdn@violin.ocn.ne.jp soumubu@koyo-yukari.co.jp
(有)小林大正園	292-0036	木更津市菅生134	0438(98)0903	0438(97)0220	http://www.taishouen.co.jp/	info@taishouen.co.jp
(株)齊藤造園土木	273-0121	鎌ヶ谷市初富172-7	047(444)3510	047(444)2479		info@saito-z.com
(株)齊藤緑地建設	270-2232	松戸市和名ヶ谷1429	047(391)3045	047(392)0815		saito137@dc5.so-net.ne.jp
(株)坂月造園土木	264-0002	千葉市若葉区千城台東1-4-6	043(237)1263	043(237)1289		info@sakaduki.co.jp
(株)佐久間園緑化	289-2132	匝瑳市高1740	0479(72)1888	0479(72)2002		sakumaen@cf7.so-net.ne.jp
(株)三協グリーン	260-0001	千葉市中央区都町2-13-1 パークアベニュー102	043(233)0707	043(233)0708		LEK06764@nifty.ne.jp
(株)三協緑化	266-0033	千葉市緑区おゆみ野南2-16-6	043(228)2410	043(228)3588		info@123kyo.co.jp
山 晃 興 業 (株)	270-1332	印西市別所599	0476(42)3270	0476(42)8131	http://www.sankou-ib.co.jp	info@sankou-ib.co.jp
(株)三樹園緑化	265-0077	千葉市若葉区御成台3-1168-13	043(236)3952	043(236)3622	http://www.sanjuenryokuka.com/	info@sanjuenryokuka.com
(株)サンライズグリーン	272-0115	市川市富浜3-11-6	047(395)6955	047(395)3336	https://sunrisegreen.jp/	info@sunrisegreen.jp
(株)志津ガーデン	285-0854	佐倉市上座1178-27	043(489)5824	043(489)4825		shizu-g@catv296.ne.jp
(有)宍倉造園土木	264-0032	千葉市若葉区みつわ台3-16-4-101	043(252)2068	043(252)2082		sisikura@crux.ocn.ne.jp
(株)篠塚造園土木	270-0135	流山市野々下1丁目399	04(7158)3854	04(7158)3744		sinoduka@oregano.ocn.ne.jp
(株)島村造園緑化	270-2203	松戸市六高台5-56	047(387)6791	047(387)9494		shimamura-zouen@nifty.com
(株)松 月 園	270-1327	印西市大森333-2	0476(42)3318	0476(42)8475		shougetu@remus.dti.ne.jp
(有)東海林造園	284-0001	四街道市大日1182-2	043(422)3013	043(423)0846		shoji-zoen@m9.dion.ne.jp
(有)白 富 士 園	270-1432	白井市富士21	047(444)1201	047(445)0045		iwasaki-ij@mti.biglobe.ne.jp
進光園緑化(株)	270-1431	白井市根713-8	047(491)0450	047(491)4906		ryokuka@sinkoen.com
新都市緑化(株)	270-0021	松戸市小金原9-15-10	047(341)3811	047(343)8343	http://www.d2.dion.ne.jp/~unaoshi	unaoshi@d2.dion.ne.jp
新日本植産(株)	290-0032	市原市廿五里1071-5	0436(21)3869	0436(22)5633	http://www.ichihara.or.jp/shinmihon_syokusan/	info@snsy.co.jp
(株)新松戸造園	270-2224	松戸市大橋809	047(391)2828	047(392)0213	http://shinmatsudo-zouen.com	info@shinmatsudo-zouen.com
(株)仁 風	267-0052	千葉市緑区下大和田町68	043(497)4706	043(497)4716		jinpuu@fancy.ocn.ne.jp
(株)砂 川 園 芸	277-0805	柏市大青田1270-1	04(7131)2587	04(7132)2850		sunakawa@xpost.plala.or.jp
(株)生 光 園	299-0245	袖ヶ浦市蔵波台6-5-10	0438(62)4075	0438(62)4520	http://www.seikouen-garden.com	info@seikouen-garden.co.jp
総武造園土木(株)	264-0020	千葉市若葉区貝塚2-4-28	043(231)5752	043(231)5362		soubu@viola.ocn.ne.jp
造園土木伊藤園(株)	286-0221	富里市七栄654-55	0476(93)0683	0476(92)5283		zo-itouen@nifty.com
袖ヶ浦興産(株)	299-0243	袖ヶ浦市蔵波26-2	0438(62)1111	0438(63)0333		so-5303@eos.ocn.ne.jp
(株)染 谷 園 芸	277-0802	柏市船戸1011	04(7131)5987	04(7133)9149		someya_engai@kir.biglobe.ne.jp
大一造園建設(株)	270-1104	我孫子市新々田212-2	04(7189)2875	04(7189)4393		daiichi-zk@jasmine.ocn.ne.jp
(株)高 橋 造 園	267-0066	千葉市緑区あすみが丘5-7-6	043(205)5544	043(205)5545		VZY04211@nifty.ne.jp
高 山 総 業 (株)	290-0005	市原市山木1183	0436(41)2378	0436(41)1674	http://www.takayama-s.jp	staff@takayama-s.jp
高山造園土木(株)	290-0011	市原市能満322-1	0436(42)3700	0436(42)3702	http://www.zouen.biz	takayama@zouen.biz
拓殖造園土木(株)	264-0007	千葉市若葉区小倉町132-8	043(236)1128	043(236)1967		takushoku@nifty.com
(株)田久保造園土木	270-1348	印西市戸神807-2	0476(46)0647	0476(46)3009		info@takubo-zouen.co.jp
田中園緑化土木(株)	277-0871	柏市若柴1-12	04(7131)4148	04(7131)4149		tanakaen@jcom.homu.ne.jp
(株)田 辺 造 園	285-0011	佐倉市山崎422-1	043(486)7945	043(486)7946		tanabe-zouen@brown.plala.or.jp
(有)千 浜 造 園	270-1121	我孫子市中峠1279	04(7188)1061	04(7188)1261		land-sc-chihama@jcom.home.ne.jp
千葉グリーンサービス(株)	260-0041	千葉市中央区東千葉1-9-1	043(253)2115	043(253)2239	http://www.chiba-green.co.jp	office@chiba-green.co.jp
千葉グリーンセールス(株)	266-0011	千葉市緑区鎌取町71-6	043(291)2101	043(291)2124	http://www.chibagreensales.co.jp	cg@chibagreensales.co.jp
(株)千 葉 花 壇	263-0043	千葉市稲毛区小仲台8-17-1	043(253)7224	043(287)7807	http://www.chibakadan.co.jp	e-garden@chibakadan.co.jp
千葉高等園芸(株)	275-0013	習志野市花咲2-8-21	047(472)0323	047(472)7942	http://www5.ocn.ne.jp/~hoshi666/	koutouengei@kjc.biglobe.ne.jp
千葉砂防植産(株)	260-0801	千葉市中央区仁戸名町357-30	043(261)3393	043(265)8719		chiba@sabou.co.jp



社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H P アドレス	E メール
千葉造園土木(株)	263-0041	千葉市稲毛区黒砂台2-12-7	043(243)7721	043(243)7753	http://www.chibazouen.co.jp	landscape@chibazouen.co.jp
(株)千葉緑化サービス	264-0021	千葉市若葉区若松町496-2	043(421)4105	043(421)4106		c-ryokka@pluto.plala.or.jp
千代田緑化工事(株)	274-0068	船橋市大穴北2-23-17	047(457)3470	047(457)0117		chiyoda-g@ia5.itkeeper.ne.jp
築山緑化建設(株)	273-0012	船橋市浜町3-2-1	047(435)0540	047(437)0709	http://www.tkym-ryokka.co.jp	info@tkym-ryokka.co.jp
東丘施設管理(株)	267-0066	千葉市緑区あすみが丘4-30 ガーデンコート社の駅前館008	043(294)0617	043(308)7213		e.hill@m3.dion.ne.jp
(株)東松園	270-2261	松戸市常盤平4-20	047(387)6211	047(384)1820		info@toshouen.co.jp
(株)東城園	260-0042	千葉市中央区椿森6-8-17	043(254)2128	043(254)2126		tojyoenchiba@rapid.ocn.ne.jp
(株)常盤ガーデン	277-0825	柏市布施914	04(7131)6126	04(7132)4414		soumu@tokiwagarden.co.jp
(株)徳受園	264-0032	千葉市若葉区みつわ台5-21-16	043(207)2855	043(255)9278		tokujuen@tkcnet.ne.jp
(株)トム造園	270-1177	我孫子市柴崎15-10	04(7183)1600	04(7184)6700		tomzouen@apricot.ocn.ne.jp
豊四季造園土木(株)	277-0812	柏市花野井1521	04(7132)1235	04(7132)1245		toyoshikizouen@jcom.home.ne.jp
中村造園土木(株)	299-0123	市原市深城624	0436(66)7801	0436(66)1070		d.asida@n-zouen.jp
(有)長野造園土木	285-0813	佐倉市石川630-36	043(486)2605	043(486)1410		nagano-zd@catv296.ne.jp
(株)流山緑化土木	270-0132	流山市駒木134	04(7152)4310	04(7152)4312		nagareyama-ryokka@helen.ocn.ne.jp
(株)成田園芸	286-0117	成田市三里塚1-390	0476(35)1665	0476(35)1482		cne-naritaengei@air.ocn.ne.jp
(株)成田造園土木	287-0244	成田市川上245-831	0476(36)4785	0476(36)4786		kk-naritazouendoboku@triton.ocn.ne.jp
(有)西原造園	270-2203	松戸市六高台5-90	047(387)0754	047(384)8939		masahiro@nishihara-zohen.co.jp
(株)西船グリーンサービス	273-0045	船橋市山手3-14-16	047(433)0683	047(433)1755		n-green@mvg.biglobe.ne.jp
橋本屋造園(株)	290-0021	市原市山田橋434-21	0436(43)3211	0436(43)3213		info@hashimotoya-zouen.co.jp
林園緑地建設(株)	275-0013	習志野市花咲1-10-3	047(472)0818	047(476)6607		hayashien@tea.ocn.ne.jp
林造園土木(株)	260-0001	千葉市中央区都町3-29-1	043(233)9411	043(233)9412		aec01214@nifty.ne.jp
フタバ緑化産業(株)	263-0023	千葉市稲毛区緑町2-1-10	043(243)0451	043(244)5739		info@futabaryokuka.co.jp
(有)藤井造園土木	275-0017	習志野市藤崎6-4-26	047(473)2953	047(472)3781	http://www.fujiizoen.co.jp/	info@fujiizoen.co.jp
藤木園緑化土木(株)	275-0024	習志野市茜浜1-6-4	047(453)1031	047(454)1375	http://www.fujikien.server-shared.com/	fujikien@triton.ocn.ne.jp
(株)宝珠造園土木	279-0003	浦安市海楽2-4-18	047(380)2510	047(380)1422		yshb22061968@luck.ocn.ne.jp
(株)芳松園	277-0872	柏市十余二380-100	04(7144)1641	04(7133)3274		houshouen@marusyo-kenzai.co.jp
(株)報徳緑化土木	285-0863	佐倉市白井146-1	043(489)7100	043(489)7080		houtoku@h8.dion.ne.jp
房総グリーンセールズ(株)	290-0062	市原市八幡171	0436(41)1860	0436(41)1861		kamura@boso-green.co.jp
(株)北総園芸	286-0221	富里市七栄525-31	0476(93)3456	0476(93)6812		hokuso@mwd.biglobe.ne.jp
(株)北総造園緑化	286-0821	成田市大室1055-1	0476(36)1346	0476(36)2336	http://www.lah.co.jp	info@lah.co.jp
北総緑化開発(株)	285-0812	佐倉市六崎291-3	043(486)0016	043(486)0097		hokusou@bz03.plala.or.jp
(株)堀之内造園	272-0834	市川市国分7-9-19	047(374)2197	047(373)8641		horinouchi-z@mtd.biglobe.ne.jp
(株)マスヤ	299-1603	富津市更和79	0439(67)0055	0439(67)1947		kmasuya@apricot.ocn.ne.jp
増栄産業(株)	299-0242	袖ヶ浦市久保田2171	0438(62)7118	0438(62)5522		masueisangyo@jcom.home.ne.jp
(株)三上造園	277-0074	柏市今谷上町47	04(7174)5311	04(7176)0511		mikami.lc@jcom.home.ne.jp
(株)ミヤノ	270-1327	印西市大森513-1	0476(42)8421	0476(42)8159		qq3t4zu9@air.ocn.ne.jp
緑造園土木(株)	265-0053	千葉市若葉区野呂町1793-317	043(228)3681	043(228)4926		t-yasojima@midorizouendoboku.co.jp
三木造園土木(株)	299-1161	君津市北子安1-14-12	0439(52)0559	0439(54)5059	http://www.mitsugi-zd.co.jp	mitsugi@poem.ocn.ne.jp
(株)ムサシ	299-0233	袖ヶ浦市岩井634	0438(75)3862	0438(75)3180		swrn@634musashi.co.jp
茂手木造園(株)	264-0012	千葉市若葉区坂月町29-1	043(233)1955	043(233)1906	http://www.motegi-zouen.co.jp/	info@motegi-zouen.co.jp
(株)森田植物園	273-0044	船橋市行田1-26-33	047(439)3822	047(439)3824		m.k@eos.ocn.ne.jp
(株)八千代グリーンテック	276-0046	八千代市大和田新田446-241	047(459)9211	047(459)9201		info@y-greentec.co.jp
(有)八千代緑化	276-0031	八千代市八千代台北17-15-10	047(485)7823	047(485)7830		info@yachiyoryokuka.co.jp
谷中造園土木(株)	292-0812	木更津市矢那2381	0438(52)2552	0438(52)2858		info@yanakazouen.co.jp

社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H P アドレス	E メール
山崎緑化建設(株)	286-0006	成田市北須賀260	0476(26)9312	0476(26)1725		yama260@aurora.ocn.ne.jp
(株)山田緑地建設	292-0024	木更津市大寺1060	0438(98)0234	0438(98)0253	http://www6.ocn.ne.jp/~yamada77/	yamadaryokuti@isis.ocn.ne.jp
(有)山本造園	285-0836	佐倉市生谷1569-5	043(487)8435	043(487)8439		yamamoto-zouen@catv296.ne.jp
(株)ユアサ園芸	272-0811	市川市北方町4-2088	047(339)2444	047(338)4311	http://www.yuasa-k2-d.jp/	yuasaengei@if-n.ne.jp
(株)横川造園土木	278-0041	野田市蕃昌24-1	04(7129)1166	04(7129)1169		yokokawa@siren.ocn.ne.jp
(株)横芝緑化	264-0017	千葉市若葉区加曾利町720-4	043(232)5080	043(232)6323	http://www.yokoshibaryokuka.co.jp	info@yokoshibaryokuka.co.jp
(有)ランディックスガーデン	270-1431	白井市根633-1	047(492)3390	047(492)3335		landx@ams.odn.ne.jp
(株)緑建	277-0033	柏市増尾4-21-1	04(7172)6487	04(7174)2988		ryokuken@orion.ocn.ne.jp
(有)緑鈴造園	283-0016	東金市菱沼238-1	0475(58)7610	0475(58)2610		ryokurin@poplar.ocn.ne.jp
(資)林農社	285-0863	佐倉市王子台1-15-11	043(461)0636	043(461)1652		rinnousya@rinnousya.co.jp
(株)渡辺造園	289-2315	香取郡多古町御所台173	0479(76)7330	0479(76)2661	http://www.watanabezouen.co.jp	info@watanabezouen.co.jp

賛助会員

2 社

社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H P アドレス	E メール
(株)イ ズ ミ	270-0128	流山市おおたかの森3-3-3	04(7159)0462	04(7159)3294	http://www.izumi-garden.jp	izumi.kura@ag.wakwak.com
船橋港業(株)	273-0018	船橋市栄町2-4-25	047(435)1651	047(435)1652		funabashikougyou@mist.ocn.ne.jp

東リースがお手伝いいたします！

機械が足りない！故障した！新しい機械がほしい！・・・
ぜひ、東リースへ御相談ください！

◇市原営業所	市原市草刈548-1	TEL (0436)74-5181
◇東金営業所	東金市山田196-1	TEL (0475)50-4555
◇千葉北営業所	四街道市鹿放ヶ丘45	TEL (043)424-1115
◇野田営業所	野田市蕃昌281-3	TEL (04)7127-4691

御用命は各営業所へ御連絡ください。



貸します！

売ります！

修理します！



資格を
とろう！

ショベル・玉掛・高車・小型移動式クレーン等

各種技能講習・特別教育・安全衛生教育

住友建機販売株式会社

千葉労働局長登録教習機関

住友建機教習所
千葉教習センター

技能講習

- 車両系建設機械(整地・運搬等)
- 車両系建設機械(解体用)
- フォークリフト、高所作業車
- 小型移動式クレーン、玉掛け
- 不整地運搬車 等

特別教育等

- 刈払機の取扱い
- 職長・安全衛生責任者
- 小型車両系特別教育
- 低圧電気取扱者 等

予約・お申し込みは

すみともけんき 千葉

検索

稲毛区長沼原町731-1
☎043-420-1549



ゼロ災害でいつも健康 あかるい職場

千葉労働局長登録教習機関

(技能講習・特別教育・安全衛生教育・能力向上教育)

- ◇木材加工用機械作業主任者技能講習
- ◇チェーンソーを用いる伐木等特別教育
- ◇刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育

※下記へお問い合わせください。

林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部

(略称: 林災防千葉県支部) 〒283-0823 東金市山田 800番地
TEL 0475-53-0123 FAX 0475-53-2000



千葉県巨樹・古木紹介シリーズ ②⑤

スダジイ (雷神木)



所在地：千葉縣市川市国分

樹 種：スダジイ（常緑高木）

ブナ科 シイノキ属

樹 高：17m

葉張り：10m

幹周り：6.6m

樹 齢：伝承 600年

市川市指定保存木

市川市国分の台地先端部、下総国分寺近くの住宅地の中に赤い鳥居のある小山があり、小山の上に市川市の保存木になっているスダジイ（別名雷神木）とスダジイの根元には石碑が有る。スダジイの左隣には大きな切り株が有り以前はこの2本の大木がこの小山を覆っていた。この小山は古墳（おそらく円墳）だとも言われ下総国分城内に有り城内の樹木として育ったのであろう。市川市の住宅地の中でこの巨樹・古木は地域住民に保護され生育している。

（樹木医 中村 元英）



一般社団法人 千葉県造園緑化協会

〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-13-1 千葉県建設業センター 304号室

TEL 043-246-3040 FAX 043-246-3041

URL <http://www.zouen.or.jp>

E-mail info@zouen.or.jp

恵みの庭を
人がつながる
北の大地から。

Garden Festa

HOKKAIDO
.....
ENIWA



第39回 全国都市緑化北海道フェア

ガーデンフェスタ北海道2022

期間

2022
(令和4年)

6/25 SAT · 7/24 SUN

会場

恵庭市 花の拠点「はなふる」周辺 他

ENIWA



提唱：国土交通省

主催：北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構



再生紙を使用しています。